

社会参画力の基礎を培う社会科学習のあり方
～第6学年 わたしたちの生活と政治
(千葉ニュータウン中央駅周辺の開発)を題材として～

1 設定理由

昨年度から、選挙法の改正により18歳から選挙権が与えられることになった。若者がよりよい社会の形成に参画するチャンスが広がったにも関わらず、18歳や19歳の投票率は芳しくないという。社会参画の一つである「参政すること」の低下は、これからの社会において大きな問題であるといえるだろう。本学級では、政治の学習について約7割の児童が興味・関心をもっている。児童の公民的な資質の基礎を養うためには、児童の意欲を大切にしながら、社会の問題や課題に気づき、それらを解決しようとする意識を芽生えさせる必要がある。そこで6年生の政治の学習を通して、地域開発と政治の働きとの関わりを学ぶ中で、社会参画力の基礎を培わせることをねらい主題を設定した。

2 研究仮説**【仮説1】**

調べたりまとめたりする場を工夫すれば、社会的事象どうしのつながりを捉え、関わる社会への理解が深まり、社会参画力の基礎が育つであろう。

【仮説2】

自分の地域に関する対話的な活動を行えば、地域や社会の課題を自分事として捉え、社会参画力の基礎が育つであろう。

3 研究内容

- ① 児童が関わる社会への理解を深めることができる学習活動
- ② 児童が地域や社会の課題を自分事として捉えることができる学習活動

4 結論

- フィールドワークを行い、地域に目を向け、調べたことを話し合い、さらにゲストティーチャーから、我々の願いと政治との関わりについて詳しく話を聞くことで、自分たちの生活と政治のしくみの関わりについて、多面的に理解することができた。また、政治のしくみが人々の願いをかなえるのに深い関わりがあることも合わせて理解することができ、社会参画力の基礎を育てる事ができた。
- 自分たちの住んでいる地域をより良くするためにどうしたらよいかという課題について、地域の人の想いをまとめたり、まとめたことをゲストティーチャーに発信する活動を行ったことで、地域の課題を自分事と捉えることができ、社会参画力の基礎を育てる事ができた。

1 研究主題

社会参画力の基礎を培う社会科学習のあり方
～第6学年 わたしたちの生活と政治（千葉ニュータウン中央駅周辺の開発）を題材として～

2 主題設定の理由

（1）現代社会の現状から

2015年に改正公職選挙法が成立し、2016年の参院選から選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられた。このことにより、若者が政治を通してよりよい社会の形成に関わるチャンスが広がったといえる。しかし、18歳と19歳の投票率は思われていたほど高くはない（2016年の参院選投票率…18歳約51%、19歳約37%）。

投票率が低い原因として、若者をはじめとした有権者の「地域や社会への関心の低さ」「地域や社会の理解不足」が挙げられる。社会参画の一つである「参政すること」の低下は、これからの社会において大きな問題であるといえる。

故に社会科学習の目標の一つである「児童一人一人に公民的な資質の基礎を養う」ことは、喫緊の課題であり、その目標を達成できる授業の充実を図っていかなくてはならない。

（2）児童の実態から（6年2組 31名）

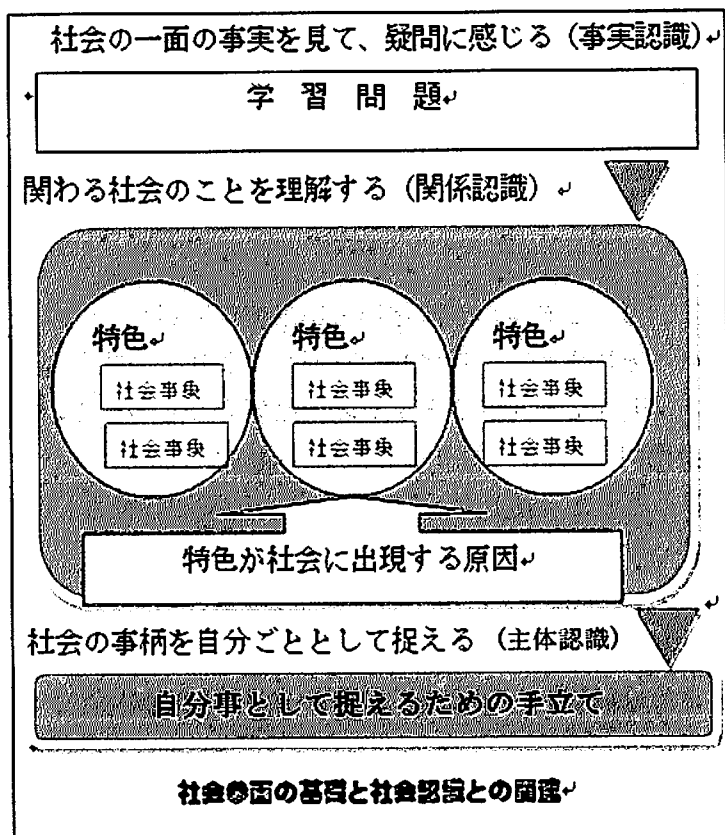
本学級は、全体的に学力が高く学習の理解も早い。社会科学習において知識の習得が得意な児童は多いが、その知識を関連付けて、ある社会的事象が起こった背景や、関わった人々の意図といった、多面的な物の見方ができるまでにはいたっていない。

政治の学習については、約7割の児童が興味・関心をもっている。政治が自分たちの生活に身近に関わっていることを感じている児童は多いが、政治から思いつくキーワードや知っていることから考察すると、どのように関わっているのかを具体的に理解している児童は少ない。児童の公民的な資質の基礎を養うためには、政治への高い興味・関心をそのままにせず、政治や自分たちの地域・社会についての理解をより深めさせ、自分の地域や社会への関心をもたせる必要がある。そこから社会の問題や課題に気づき、それらを解決しようとする意識にもつながるだろう。以上のことから、社会的事象どうしのつながりをとらえる力をつける中で、関わる社会のことについての理解を深めたり、地域発信などの活動を取り入れた学習を進めていくことによって地域や社会のことを自分事としてとらえたりできるようになり、これからの社会に必要な社会参画力の基礎が育つだろうと考え、本主題を設定した。

3 主題について

社会参画力の基礎を培うとは、本研究では、「地域や社会の問題や課題を解決しようとする意識が芽生えること」と定義する。北俊夫氏は「社会参画力を身に付けさせ発揮させるためには、①関わる社会のことを理解すること②社会のことがらを自分事として捉えること、が必要であり、それらを経て、社会がわかるようになると、社会の問題や課題に気づき、それらを解決しようとする意識が芽生えてくる」と著している。（社会科教育平成26年10月号 明治図書 北俊夫氏 2014年）

このことを、社会認識の育成の3段階（事実認識・関係認識・主体認識）と関連づけ、次のように定義付けたい。



まず児童は、社会的事象を一面的に見て、様々な疑問を抱える。ここで学習問題が成立する。

次の段階としては、問題に基づいて、関わる社会のことを理解する段階である。ここでは調べ学習を通して、様々な社会事象の収集をする。複数の社会的事象の関係を把握することで、それら事象の特色を理解し、さらにその特色が生まれる理由を理解する。このように、多面的に理解できることが重要である。

最後の段階では、社会の事柄を自分事として捉える段階である。そのためには、「もっと詳しく知りたい」「何かできることはないか考えたい」と意識することが大切で

ある。こうすることで、社会参画の基礎を育成する効果をより高めることにつながる。

以上のような社会認識の段階を通して、社会参画の基礎を育成していきたい。

4 研究の目標

政治学習において、地域開発と政治との関わりを調べたり、地域の人に調べたことや考えたことを発信したりすることを通して、地域や社会及び政治のしくみへの理解を深めさせると共に、地域や社会の課題を自分事として捉えさせ、社会参画力の基礎を培うことに有効であることを、実践を通して明らかにする。

5 研究仮説及び手立て

【仮説1】

調べたりまとめたりする場を工夫すれば、社会的事象どうしのつながりを捉え、関わる社会への理解が深まり、社会参画力の基礎が育つであろう。

手立て① 話し合い活動

児童が住んでいる印西市は、東洋経済新報社が発表している「住みよさランキング」でここ数年全国一位を取り続けている。児童の学区となっている「千葉ニュータウン中央駅周辺」は、今なお人口が増加し続け、市内でも特に「住みやすい」とされている地域の一つである。

この地区が住みやすい理由を、実際に駅周辺を歩き回らる中で、自ら見つけたり感じたりさせ地域への興味・関心をもたせる。また、調べてきたことを話し合いまとめる活動を通して、住みやすい理由を多面的に捉えることができ、地域や社会への理解が深まると考える。

手立て② ゲストティーチャーの活用

千葉ニュータウン中央駅周辺は、計画的な都市開発が行われていて、市民の想いがその町づくりに反映されている。本研究では、その想いが実際に形になるために、政治の働きが深く関わっていることについて、地区在住のゲストティーチャーに話を聞く。政治の本質は国民の願いをかなえることであり、またその本質は、地域開発など身近な問題にも関わっていることを知る中で、政治の働きを多面的に捉えることができ、政治のしくみへの理解が深まると共に関わる社会への理解が深まると考える。

【仮説2】

自分の地域に関する対話的な活動を行えば、地域や社会の課題を自分事として捉え、社会参画力の基礎が育つであろう。

手立て① 街頭インタビュー

千葉ニュータウン中央駅周辺を「より住みやすくする」にはどうしたらよいだろうかという課題をもち、調べまわめていく。実際に地域の人にインタビューを行うことで、地域の課題を自分事として捉えることができ、社会参画力の基礎が育つと考える。

手立て② 地域への発信

千葉ニュータウン中央駅周辺を「より住みやすくする」にはどうしたらよいだろうかという課題について、調べまとめたことを、ゲストティーチャー（政治について話していただいた方）に発信する。ゲストティーチャーには、実際にその方法が有効かなどを話していただくことで、自分たちのアイデアについての評価をしてもらう。その活動の中で、地域の課題を自分事として捉えることができ、社会参画力の基礎が育つと考える。

6 研究構造図

目指す児童像

○社会をより良く変えるために、自分にできることを考えたり話し合ったりし、実際に行動しようとする子。

変容の願い

自分の地域の特色について調べ、地域への理解を深めることができる。

政治の働きや政治と日常生活との関わりについて調べ、政治のしくみへの理解を深めることができる。

地域の人に、調べたことや考えたことを発信し、自分の地域や社会の課題を自分事と捉えることができる。

手立て

- ・千葉ニュータウン中央駅周辺の開発について知り、「なぜ住みやすい地域なのか」ということについて、調べたりまとめたりさせる。
- ・政治の働きや千葉ニュータウン中央駅周辺の開発と政治の関わりについて、ゲストティーチャーから話を聞き、調べさせる。
- ・「千葉ニュータウン中央駅周辺をより住みやすくするにはどうしたらよいか」という課題を取り上げ、地域の方にインタビューして、調べたりまとめたりさせる。
- ・調べたことやまとめたことを、地域の方に発信する場を設定する。

研究主題

社会参画力の基礎を培う社会科学習のあり方。
～第6学年 わたしたちの生活と政治（千葉ニュータウン中央駅周辺の開発）を題材として～

主題を支える学力

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・政治の働きに関心をもち、意欲的に調べようとする。	・社会的現象の意味をより広い視野から考えたり、調べたことや考えたことを表現したりする。	・社会的現象を具体的に調査するとともに、各種の基礎的資料を効果的に活用する。	・日常生活における政治の働きを理解できるようにする。

学習 過程	○主な学習内容	期待する変容の姿
つ か む (2)	○印西市は「住みよさランキングで5年連続日本一であること」「特に千葉ニュータウン中央駅周辺の人口が増えていること」を知り、この地域（学区周辺）に、人が集まる理由を考える。 ○学習問題を立てる。 ④千葉ニュータウン中央駅周辺が住みやすいのは、どんな秘密や工夫があるからだろうか。	○事実認識の段階 印西市は、「日本で最も住みやすい地域」と評価されている 千葉ニュータウン中央駅周辺は特に人口が増えている 何か秘密や工夫があるにちがいない！
調 べ る (4)	○千葉ニュータウン中央駅周辺を実際に歩いて調べる。 ○駅周辺には共同溝があるなど計画的に町づくりが行われたことを知り、関係者から工夫や想いなどの話を聞く。 ○調べたことを整理する。 ○ゲストティーチャーから、千葉ニュータウン中央駅周辺の開発には「政治の働きが関わっていること」や「実際の関わり方」を聞く。	防犯用看板 交番 防犯カメラ 点字ブロック 公園 休憩用ベンチ 指定喫煙場所 広い歩道 電車 大型商業施設 国道464号 バスロータリー 千葉ニュータウンの特色の理解 安 心 快 適 便 利 どうすれば・・・特色が実現するの？ 理由の理解 市議会や市役所など、政治の働きが深く関わっている
ま と め る (1)	○学習問題についてまとめる。 ④千葉ニュータウン中央駅周辺は、住みやすくするために、安心・快適・便利のポイントから計画的に開発を行っている。なぜそのような計画的な開発が行えたかという点、市議会など政治の働きによって、地域の人々の願いを取り入れながら進められたからである。 ○学習の振り返りを書く。	関わる社会の理解の深まり

広
げ
る
(5)

○千葉ニュータウン中央駅周辺をより住みやすくするためには、どうしたらよいかを考えて話し合う。

○地域をより良くするにはどうしたらよいかについて地域の人に、街頭インタビューで意見を聞く。

○調べたことを話し合い、まとめる。

○ゲストティーチャーに、まとめたことを発信し話し合う。

○自分がもし市議会議員になるとしたら、どのような選挙ポスターをつくるか考え、作成する。

○学習の振り返りを書く。

ゲストからの提言

住みやすいといわれているが、課題もあることやより住みやすくするためにできることがある

いろいろありそう。本当かな……。インタビューしてみたい。

まとめることでその課題の特徴を理解

北総線の
本数増加

病院数の増加

歩行者信号の
待時間延長

高齢者用福祉
施設の増加

幼稚園や保育
園の増加

街灯数の増加

ゲストティーチャーへ課題を発信し評価

地域や社会の課題を自分事として捉え

これからは「自らできることを行っていきたい」という気持ちが育つ。

自分だったら、より良い地域にするためにこういうことをしていきたい。

8 授業の実際

第1時



住みやすさで日本一と言われているなんて知らなかった

みんなの住んでいる印西市は、「住みよさランキング」でなんと5年連続一位。その中で、児童数が増えている小倉台小学区は、印西市内で特に住みやすい地区と考えられるね。

どうして、千葉ニュータウン中央駅周辺は住みやすい地域なんだろう。

④千葉ニュータウン中央駅周辺が住みやすいのは、どんな秘密や工夫があるからだろうか。

第3時

駅周辺のフィールドワーク

実際に駅周辺のフィールドワークを行った。千葉ニュータウン中央駅周辺には、どんな良さがあるかを確認したり、新たに発見したりすることができた。



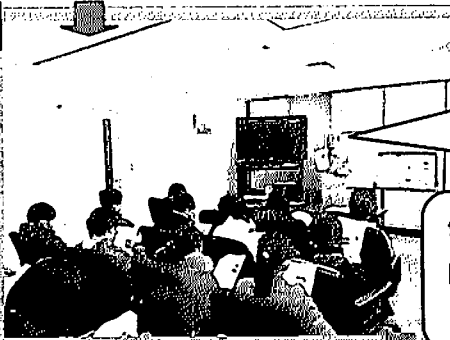
イオンやたくさんのお店があることも理由の一つじゃないかな。

実際に撮影した箇所

- ・防犯カメラ
- ・防犯の看板
- ・休憩用のベンチ
- ・公園
- ・電車（北総線）
- ・たくさんあるゴミ箱
- ・案内板
- ・ソーラーパネル
- ・バスロータリー など

第4時

共同溝の話



共同溝は、千葉ニュータウン中央駅周辺の地下にある大きな空洞で、その中に電線や水道管などほぼ全てのライフラインをまとめてあります。

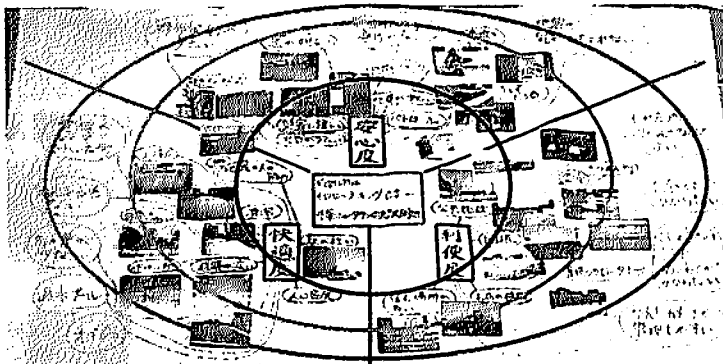
住んでいる地域の地下に、共同溝があるなんて知らなかった。

一つのトンネルに水道管や電線がまとまっているとたしかに便利だね。

第5時

調べたことの整理<仮説1-①>

自分たちの住んでいる地域が住みやすい理由をフィールドワークで調べ、まとめた。まとめる際の話し合い活動を通して、調べたことは「安心」「快適」「便利」の三点に整理され、地域の特色について理解を深めることができた。まとめる際には、思考ツールを活用し、児童の思考整理の助けとした。



予想を黒色→フィールドワークで分かったことを緑色→共同溝を調べて分かったことを赤字とすることで、学習が進むにつれて、地域についての理解が広がっていることがわかる。

千葉ニュータウン中央駅周辺が「住みやすい」といわれる特色がよくわかった。

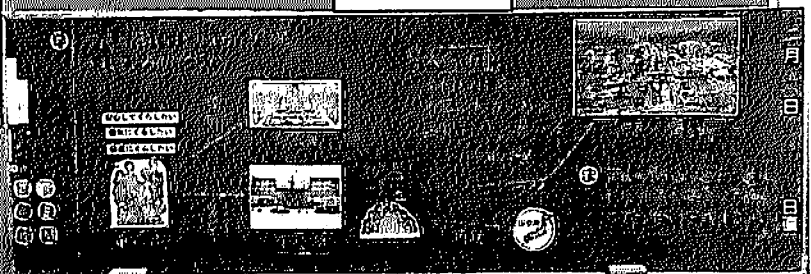
なぜ、このような町作りが実現するのだろうか。

第6時

ゲストティーチャーの話<仮説1-②>

こんな町にしたいという想いは、まず市役所に要望したり、市議会に請願したりします。

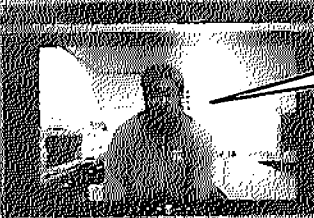
授業の板書



私たちの願いと政治の働きは、深い関わりがあるんだね。

第8時

ゲストティーチャーからの課題提示



千葉ニュータウン中央駅周辺を、さらにより良くするにはどうしたらよいのか調べて、私に教えて下さい。

お母さんが、北総線の運賃が高くて不便だって話していたよ。
この地区もまだ問題があるね。

課題を見つけて解決すれば、より住みよい地域になるね。

第9時

街頭インタビュー＜仮説2＞



小さい子どもがいると、青信号がすぐ点滅すると渡りにくい。もっと横断歩道の青の時間が長いと良いと思います。

地域の人が駅周辺をより良くしたいという想いを、何とかできないだろうか。

街頭インタビューで出た、地域の方の意見（一部）

- ・幼稚園や保育園を増やしたらよい。
- ・横断歩道の歩行者信号の青時間をもっと長くしてほしい。
- ・コンサートができるような文化施設があったら便利。
- ・老人ホームなど介護施設がこれからはもっと必要だ。
- ・交番や警察署が増えると、治安ももっと良くなると思う。
- ・北総線の本数を増やすと、もっと便利で住みやすい。
- ・北総線の運賃がもっと安くなるとよい。
- ・近くに高速道路のインターチェンジがあると便利。
- ・循環バスの本数やルートの種類を増やすと住みやすい。
- ・大きい病院と夜間病院の数を増やしてほしい。
- ・いろいろな場所のスロープとエレベーターが増えるとよい。
- ・地域の街灯の数が少ないと治安も悪くなる、増えると安心。

第10時



地域の課題から
主な6つの意見

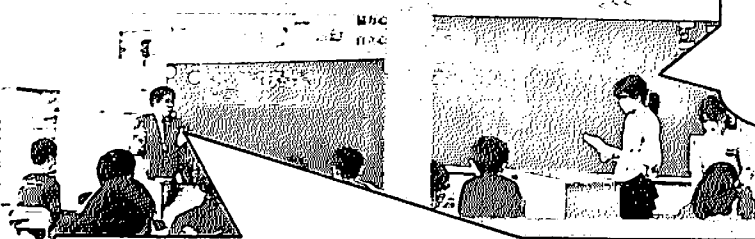
地域の人の意見には、私や親と同じ意見も多い。同じようなことを課題としているんだね。

話し合い、意見をまとめたみると、6つの意見ができた。これが、この地域の大きな課題だ。

- 北総線の電車の本数が増えるとよい。
- 病院の数が増えるとよい。
- 歩行者信号の青の時間を延長するとよい。
- 老人ホームのような施設が増えるとよい。
- 幼稚園、保育園の数が増えるとよい。
- 地域の街灯の数が増えると安心だ。

第11時

ゲストティーチャーへの発信＜仮説2＞

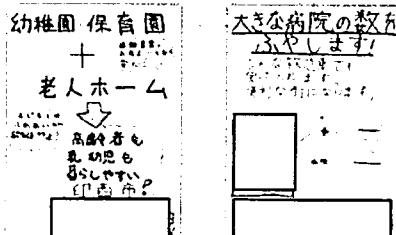


こちら辺の人はほとんどが電車通勤なので、子どもの送り迎えを楽にするために、駅の周りに幼稚園や保育園をつくったほうが、より便利で良い町になるそうです。幼稚園や保育園を増やすことはできないのでしょうか。

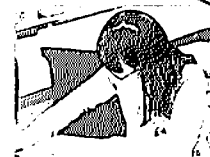
より良い地域にするためにも、幼稚園や保育園を増やすことは大切な事ですね。保育園をつくるかどうかは市が、幼稚園をつくるか県が決めています。ちなみに、今年中に地域に新しく保育園が2つできる予定です。

第12時

市議会議員選挙ポスター作り



私だったら、地域の病院の数が少ないことを何とかしたい。



9 仮説の検証

(1) 仮説1について

話し合い活動が千葉ニュータウンの住みやすさの特色理解につながったかを、抽出児童のフィールドワーク時と話し合い活動後の振り返りの変容から考察する。

(ア) 抽出児童の結果

抽出児童	成績	フィールドワーク時の振り返り	話し合い活動後の振り返り
A児	下位	学校の外に出て、駅周辺には建物がたくさんあることを知った。	自分が気づくことができなかった、いろいろな工夫を知ることができた。
B児	中位	実際に見ることで、住みやすい理由がたくさん発見できた。	普段なにげなく歩いている場所にも、 <u>便利</u> や <u>安心</u> がたくさんあることがわかった。
C児		実際に見に行くと、駅周辺にはたくさんの安心ポイントがあった。	駅周辺の、たくさんの <u>安心・快適・便利</u> を知ることができた。
D児	上位	調べて、千葉ニュータウン中央の住みやすさを感じた。	住みやすさは、 <u>安心・快適・便利</u> という工夫にあったということがわかった。
E児		地域には、思ったより防犯用の看板がありこれが住みやすい理由だと思った。	他の班の話聞いて、 <u>安心</u> だけでなく、 <u>快適</u> や <u>便利</u> も住みやすい理由だと知った。

(イ) 考察

話し合い活動後、地域特色の理解がより深まったことを感じさせる児童の振り返りが増えた。これは、話し合い活動を通して、他者の多様な意見を聞き、複数の「地域の良さ」を把握することで、地域の特色理解が深まったと考えられる。A児（成績下位層）は、話し合い活動後に地域の特色を理解するまでには至らなかったが「地域の良さ」は多面的であることに気付くことができた。それ以外の4人の児童（成績中・上位層）は、フィールドワーク時は地域の良さについて自分が発見したことしか感じたり理解したりできなかったが、話し合い活動後には地域の特色を見事に捉えられていることがわかる。

ゲストティーチャーの話が、千葉ニュータウンの住み良さの特色と政治との関連につながったかを、ノートの記述や授業後に児童が書く振り返りから考察する。

(ア) ノート記述や振り返りを分析するための評価基準

授業後の児童の振り返りの内容を分析し、作成した評価基準をもとに、政治の仕組みへの理解の深まりをグラフ化した。評価基準がAになるほど、理解がより深まっているといえる。

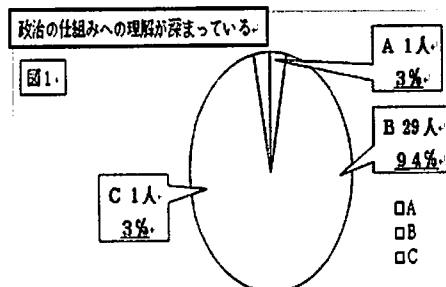
【政治の仕組みへの理解が深まっている】（ノート・授業後及びゲストティーチャーへの感想）

	評価基準	文例
A	政治の仕組みが、人々の願いをかなえるのに強い関わりがあることを理解している。	「地域をより良くしたい時は、市役所や地域の市議会などにお聞きすればよいことがわかった。」
B	政治の仕組みと、自分達の地域や社会が関係していることを理解している。	「市民の願いは、市役所や市議会を通して実現されていることがわかった。」
C	政治の仕組みについて理解している。	「この学習で、市役所や市議会の働きがわかった。」

(イ) 考察

ほぼ全ての児童が、AもしくはB評価に達している結果となった（図1）。ゲストティーチャーの話から、政治の仕組みへの理解を深められたと考えられる。

地域に住み、地域開発や政治の働きにも詳しいゲストティーチャーが、「地域開発」「市役所」「市議会」



「選挙」「税金」といったキーワードを筋道立てて説明したことにより、政治の働きと地域の願いに関係があることについての児童の理解を深めさせることができたと考えられる。

(ウ) その後の結果

小学校の授業時点では、A評価に達している児童は少なかったが、中学校に進学した後にアンケートをとったところ(図2)、内容がA評価に達している回答児童が約半数いた。

これは、この学習を通して政治についての理解が着実に深まり、意識の中に根付いていたため、中学生になった時に割合が上がったと考えられる。選挙法の改正により、18歳から選挙権が与えられている現在だが、思ったより投票率は上がっていない。今回の様な授業を、小中連携して行っていくことで、児童・生徒の選挙への理解や関心が高まり、今後投票率の改善にも繋がっていくのではないだろうか。

中学校実施のアンケートで「政治のしくみが、人々の願いをかなえるのに深い関わりがあることについて記入がある」生徒の回答

2名とも小学校時はB評価の児童だった。市民の願いと政治の働きとの関係について理解できていることがわかる。

自治体や団体などに「〜」について板書して、(8人)は「〜」について活動に参加する。

市議会に持ち出して議論してもらう。
警察官のパトロールを強化する。(とくに夜)

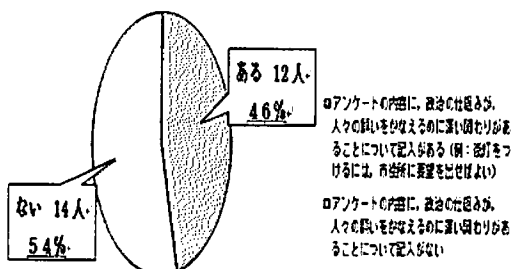
学習「わたしたちの政治と生活」が終わりました。学習を振り返り、感想を書きましょう。

千葉ニュータウン駅周辺や政治を学び、わけにはない。と、知りたかった。た。千葉ニュータウン駅周辺をもっと良くしたい。時は、市議会や市議会にお願いすればよい。と、ある。

授業後の振り返り 地域の願いが政治の働きと関わっていることを理解できている。

地域のことで、より良くしたいという願いは、どうしたら実現できますか。(卒業後7月に実施 私立進学希望者26名)

図2.



(2) 仮説2について

街頭インタビューや地域への発信が、課題を自分事として捉えることにつながったかを、ノートの記事や授業後に児童が書く感想から考察する。

(ア) ノート記述や感想を分析するための評価基準

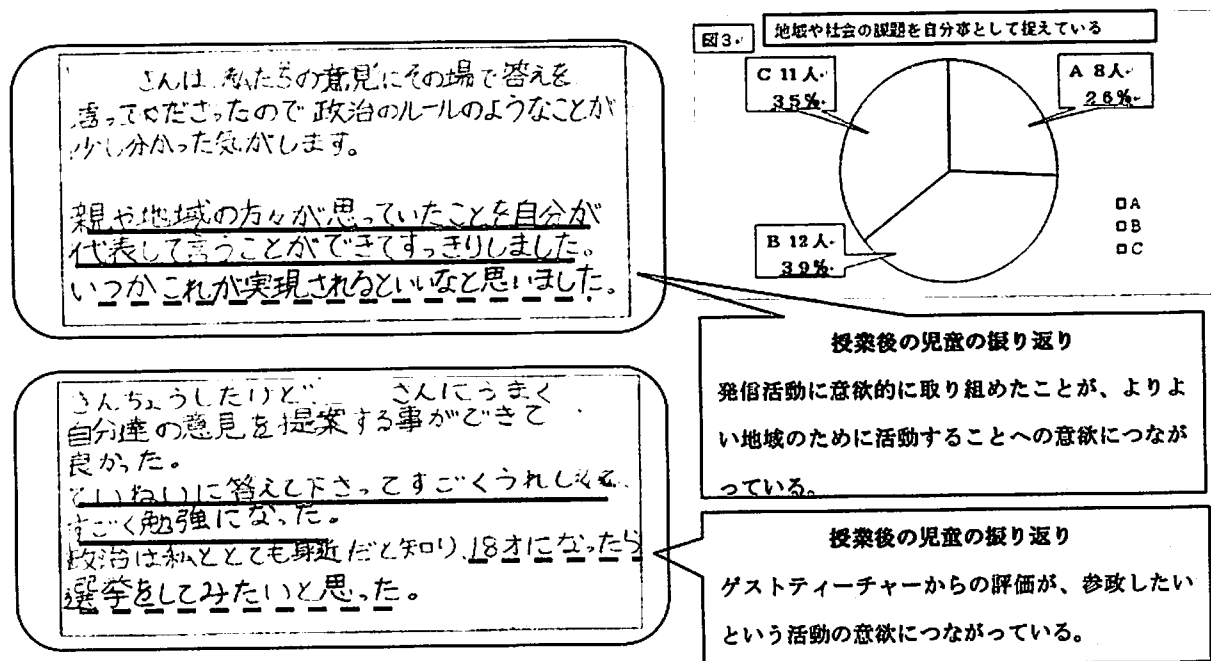
授業後の児童の振り返り等の内容を分析し、作成した評価基準をもとに、地域や社会の課題を自分事として捉えられたかをグラフ化した。評価基準がAになるほど、より捉えられているといえる。

【地域や社会の課題を自分事として捉えている】(ノート・授業後及びゲストティーチャーへの感想)

	評価基準	文例
A-	地域や社会の課題を自分事として捉え、それらを解決しようとしている。	「自分達の地域の課題が分かったので、自分達でより良くしたい。」
B-	地域や社会の課題を自分事として捉えている。	「自分達の地域に〇〇のような課題を知り、改善しなくてはいけないことがあると思った。」
C-	地域や社会には課題があることを捉えている。	「自分達の地域は〇〇のような課題があることを知った。」

(イ) 考察

65%の児童が、AもしくはB評価に達していた(図3)。これは、街頭インタビューを通じて、地域の方の願いや想いを知ることができたからである。自分たちも感じている地域課題と、地域の方の感じている課題に共通点を見出すことで、地域の課題がより身近となったためと考えられる。また、ゲストティーチャーへの発信活動で、自分たちの意見を評価されたことにより、「地域のために何かしたい」という意欲が高まったことも要因だろう。それらのことについては、児童の授業の感想内容からも感じられる。



さらに想いをまとめ、他者に伝える活動を取り入れることにより、「知ること」が地域や社会の課題を自分事として捉えることとなり、問題解決への行動の導きへとつながっていく。AならびにB評価の割合を増加させるためには、実感を伴った対話的な活動を繰り返すことが必要だと考える。その際フィールドワーク等、五感を駆使した、正しい地域理解に基づく、地域発信の活動が大切である。

10 成果と課題

<成果>

- ・フィールドワークを行い、地域に目を向け、調べたことを話し合い、さらにゲストティーチャーから、我々の願いと政治との関わりについて詳しく話を聞くことで、自分たちの生活と政治のしくみの関わりについて、多面的に理解することができた。また、政治のしくみが人々の願いをかなえるのに深い関わりがあることも合わせて理解することができ、社会参画力の基礎を育てる事ができた。
- ・自分たちの住んでいる地域をより良くするためにどうしたらよいかという課題について、地域の人の想いをまとめたり、まとめたことをゲストティーチャーに発信する活動を行ったりすることで、地域の課題を自分事と捉えることができ、社会参画力の基礎を育てる事ができた。

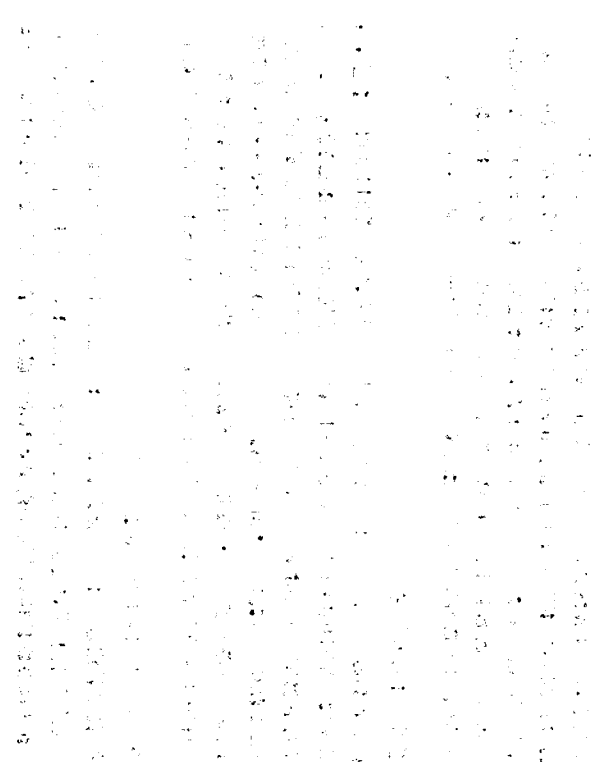
<課題>

- ・今回の研究を通して、地域や社会の課題及び政治に興味・関心を持ち、課題があることを理解することはできた。しかし、それらの課題を自分事として捉えるには至らなかった児童もいた。少しでも自分事として捉えるためには、本研究のような、フィールドワーク等、五感を駆使した、正しい地域理解に基づく、地域発信の活動を繰り返すことが必要である。

社会参画力の基礎を培う社会科学習のあり方
～第6学年 わたしたちの生活と政治
(千葉ニュータウン中央駅周辺の開発)を題材として～

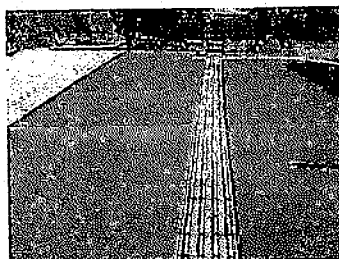
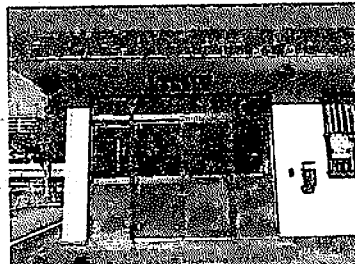
資料編

<資料1>	第1時：住みよさランキングの記事と印西市内小学校の児童数変容グラフ	P 1
<資料2>	第3時：フィールドワークにおいて児童が撮影した写真（一部）	P 2
<資料3>	第4時：共同溝についての説明（パンフレットから抜粋）	P 3
<資料4>	第5時：フィールドワークしたり共同溝について調べたりしたことを、 まとめた思考ツール	P 3
<資料5>	第6時：ゲストティーチャーが話した時の板書	P 4
<資料6>	第12時：児童が作成した市議会議員選挙ポスター	P 4
<資料7>	第10時：ゲストティーチャーへ発信するためのメモや原稿	P 5
<資料8>	仮説の検証【政治の仕組みへの理解が深まっている】 評価A・Bの児童感想等	P 6
<資料9>	仮説の検証【地域や社会の課題を自分事として捉えている】 評価A・Bの児童感想等	P 6
<資料10>	中学校で行ったアンケート原本	P 8
<資料11>	仮説の検証 中学校実施のアンケートにおいて「政治の仕組みが、人々の願いをかな えるのに深い関わりがあることについて記入がある」生徒の回答	P 9
<資料12>	毎時間行った一言ふりかえりカード	P 10
<資料13>	参考文献	P 10

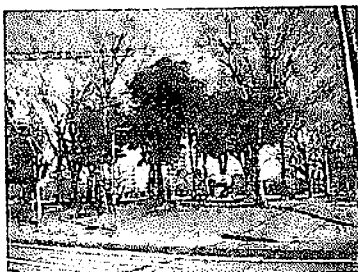


資料2 第3時：フィールドワークにおいて児童が撮影した写真（一部）

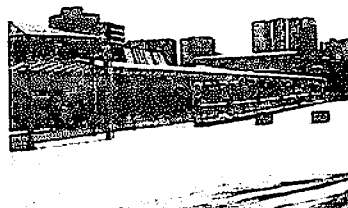
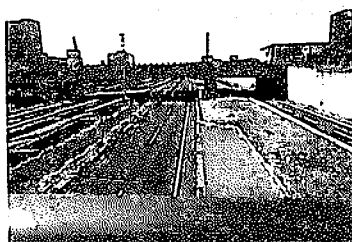
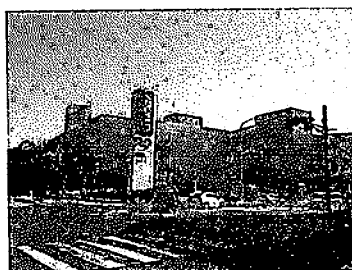
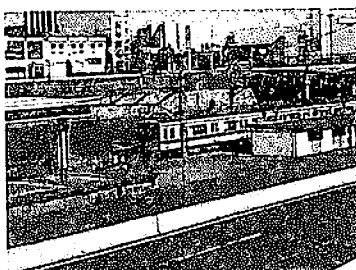
安心



快適

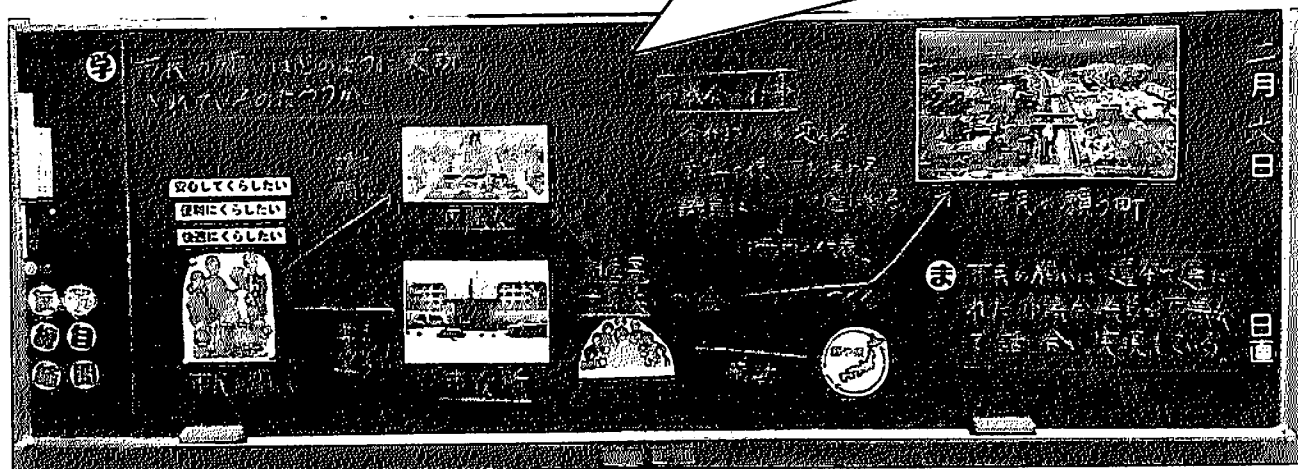


便利



資料5 第6時：ゲストティーチャーが話した時の板書

ゲストティーチャーとは事前によく打ち合わせ、教師の意図を伝えると共に、ゲストティーチャーがどんな話をするのかも確認した。



資料6 第12時：児童が作成した市議会議員選挙ポスター

北総線の本数を 増やす!!

北総線系統の駅間停車は約20分間隔で走っています。
 ・一方山手線は、4.5分間隔です。
 本数が増えたら...
 1. 待ち時間が短くなる。
 2. 走りやすくなる。
 3. 走りやすくなる。
 このため、北総線の本数を増やすべきです。

写真

名前

大きな病院の数を ふやします!

どんな救急車でも 受け入れます。
 便利な街になります。

写真

名前

幼稚園・保育園 + 老人ホーム

幼稚園・保育園は、お年よりと一緒 安心!

写真

名前

安全で美しい 町へ

安全で美しい町へ...
 ・安全で美しい町へ...
 ・安全で美しい町へ...
 ・安全で美しい町へ...

写真

名前

名前

写真

イオン前の交差点は 児童登下校時、自転車と 接触しそうになるので 自転車専用道路をつくりま!

老人ホームを 増やして、 各世代に笑顔を!

写真

名前

資料7 第10時：ゲストティーチャーへ発信するためのメモや原稿

(上段：メモ 下段：原稿)

横断歩道の青信号の時間を延ばしてほしいグループ

社会科学習 提案書作りワークシート

名
 姓

提案のテーマ

横断

理由

子ども連れやベビーカーの人、お年より、荷物を
 持った人には、青の時間が短 いから、

具体的な内容など

大塚前の歩行者信号が今は約8秒だから、約25
 秒くらいにしてほしい。

大塚前公園付近の信号が短く、困
 っている人がいました。

提案書作りに役立つようなことをメモする欄

大塚前→①18秒②18秒 大塚前→①27秒②22秒
 (大塚前)
 アルカ前→①23秒②23秒 大塚前→①17秒②19秒
 (大塚前)

私たちは利用
 について提案

原こう
 千葉NT中央駅周辺の信号は、
 このあたりの交通を楽にして
 くれます。利用するとより便
 利になると思いますが、信号
 が青の時間が短いという意見
 が多くありました。特に大塚
 前公園付近の信号が短く、困
 っている人がいました。
 調べてみると、他の信号2つ
 と大塚前公園にイオン側から
 行く2つの信号で、平均55秒
 も大塚前公園の信号の方が短
 いと分かりました。これは、
 荷物を持っている人や子供連
 れ、ベビーカーをひいている
 人にとって、とても不便です。
 どうか、信号の青の時間を延
 ばしていただけませんか？

病院を増やしてほしいグループ



社会科学習 提案書作りワークシート

名
 姓

提案のテーマ

病院を増やす。つくる！

理由

病院が遠くて困る。
 急ぎのとき待つ時間が長くて困る
 急体のときに

具体的な内容など

耳鼻科 つくる 駅周辺に！
 小児科 増やす
 眼科 増やす
 皮膚科 増やす
 産婦人科 つくる

提案書作りに役立つようなことをメモする欄

いろいろな種類(耳鼻科、小児科、
 の病院を。
 (提案)
 千葉ニュータウン中央駅の周辺
 は、病院が各地に散らば、ていて
 便利です。しかし、内科や歯医者
 は多くて、耳鼻科や眼科、小
 児科など夜間病院が少ないので、急
 体のときや急いでいる時に困、てき
 まいます。これでは、安心してき
 ません。
 このよう病院が駅周辺に増えら
 うと、住民にとってより安心に暮ら
 うことができると思います。と夜
 間病院を増やすことができないの
 でしょうか。

資料8 仮説の検証【政治の仕組みへの理解が深まっている】評価A・Bの児童感想等
 評価基準A：政治の仕組みが、人々の願いをかなえるのに深い関わりがあることを理解している。

児童A 学習終了後まとめの感想

学習「わたしたちの政治と生活」が終わりました。学習を振り返り、感想を書きましょう。

千葉ニュータウン駅周辺や政治を学ぶきっかけにな
 り、もっと知りたくなった。
 千葉ニュータウン駅周辺をもっと良くしたい時は、
 市役所や市議会にお願いすればよいことがあつ
 た。

評価基準B：政治の仕組みと、自分達の地域や社会が関係していることを理解している。

児童B・C 第6時の学習のまとめ

- ③ 市民の願いは市役所に要望や市議会に請願したりして市議会議員が市議会で話し合い実現している。
- ④ 市民の願いは、市役所や市議会をとおして、みなで話し合った結果、実現された。

社会科学学習ふりかえりカード

児童D 毎時間の一言ふりかえり

6年 2組1

☆毎時間の学習で、思ったこと・気付いたことなどを簡単にまとめましょう。

日にち	ふりかえり
1/30	印西市の住みやすさが、グラフや表をとおしてよくわかった。
1/31	様々なところについて、さらにすみやすいまをじかんした。
2/1	安心や利便についてはしるべいがないけれど、他の班のはなうをみて、はじめていたこともあった。
2/2	共同こうは、始めていた事前だけれど、1日でよくわかった。
2/6	市民の願いは、市役所や市議会の審議によって実現されていることがわかった。
2/7	この6日間をとおして、身のまわりの政治の仕組みが

資料9 仮説の検証【地域や社会の課題を自分事として捉えている】評価A・Bの児童感想等
 評価基準A：地域や社会の課題を自分事と捉え、それらを解決しようとしている。

児童E ゲストティーチャーに発信活動後の感想（第11時）

さんは、私たちの意見にその場で答えを
 言ってくださったので、政治のルールのようなことが
 少し分かった気がします。

親や地域の方々が思っていたことを自分が
 代表して言うことができてすきになりました。
 いつかこれが実現されるいいなと思いました。

児童F ゲストティーチャーに発信活動後の感想 (第11時)

さんちゅうしたけど、さんにうまく
自分達の意見を提案する事ができて
良かった。
ていねいに答え下さってすごくうれしなる。
すごく勉強になった。
政治は私とても身近だと知り、18才になったら
選挙をしてみたいと思った。

児童G 学習終了後まとめの感想

学習「わたしたちの政治と生活」が終わりました。学習を振り返り、感想を書きましょう。

政治は私たちの生活に関わっているけれど、私たちはまだ子供だし、どうせ
たくさんの方がいるので私たちは政治に関われないと思っていました。
しかし、今回の学習ではたくさんの方にアンケートをとり、自分たちの意見もとり入れ
まとめ、実際に政治に反映されると思いがちだったので、
私たちは政治に関わるも実感しました。これから、国会、内閣、裁判所などにも
選挙などで関わっていくので、これからも政治の勉強をしていきたいです。

評価基準B：地域や社会の課題を自分事として捉えている。

児童H・I ゲストティーチャーに政治の話聞いた日の感想 (第6時)

本日の社会科学習の感想を書きましょう。

お忙しいのに千葉NT中央駅周辺の事について、いろいろ
教えてもらってとても良い経験ができたと思いました。

もっとより良く千葉NTが住みやすくなればとても良い
街になると思いました。

街の人にいろいろ聞いてまだまだわかり善くないといけな
いところも多かったことがわかりました。

本日の社会科学習の感想を書きましょう。

印西市には、いいところもあればわるい
ところもあるということがわかりました。
いいところでは、でんちゅうか少ないことや、
公園が多いことです。
わるいことでは、マンションや一軒家の周辺には
でんちゅうが少ないということです。たしかに、家の
周りは、暗いので、でんちゅうがふえるといいてす。

資料10 中学校で行ったアンケート原本

小倉台小学校元6年2組のみなさんへ

平成29年7月3日

小倉台小学校 細川大志

社会科のアンケートのお願い

小倉台小学校元6年2組のみなさん、お元気ですか。中学校生活では、勉強に部活にと活躍していること
 と思います。さて、今年2月頃の社会科の学習では、ゲストティーチャーに話を聞いたりし、私たちの生活
 と政治について学習しましたね。あれから中学生になったみなさんの考えについて、アンケートにご協力を
 お願いします。うまく書けない部分は、空白でもかまいません。

※その時の授業の流れを忘れてしまった人のために、だいたいの学習（活動）を裏面に掲載しました。

元6年2組 名前【 】

- 1) 政治のニュースに関心がある（あてはまるもの一つに○）。
とてもある ・ まあまあある ・ あまりない ・ まったくない
- 2) 小学生の時と比べて、政治が身近に感じられる（あてはまるもの一つに○）。
とてもある ・ まあまあある ・ あまりない ・ まったくない
- 3) 印西市は「住みよさランキング」で6年連続日本一になりました。さて、この地域（印西市や千葉ニュータウン中央駅周辺）のことで、みなさんが何かこうしたい（良くしたい）と思うことを書いて下さい（記述式）。

例) ○○の場所で交通事故が多いので、ガードレールを新しく設置したい。

- 4) 3) で書いた「何かこうしたい (良くしたい)」という願いは、どうしたら実現できますか。(記述式)

だれが・何を・どうしたらよいか をキーワードに

ありがとうございました。

資料 11

仮説の検証 中学校実施のアンケートにおいて「政治の仕組みが、人々の願いをかなえるのに深い関わりがあることについて記入がある」生徒の回答

生徒A

例) ○○の場所で交通事故が多いので、ガードレールを新しく設置したい。

小倉台図書館周辺は街灯が少ないので、暗い。
安全のため街灯を設置したら良いと思う。
(明るくするため)

4) 3) で書いた「何かこうしたい(良くしたい)」という願いは、どうしたら実現できますか。(記述式)

だれが・何を・どうしたらよいか をキーワードに

自治体や団体などに「〜 欲しいので、市役所に
要望して欲しい」と言う。活動に協力する。など

生徒B

例) ○○の場所で交通事故が多いので、ガードレールを新しく設置したい。

近年、人口が増えるにつれ、小さい子供も増えてきているので、保育園や幼稚園の待機児童がたくさんいる。(お母さんが待機児童になっちゃった)
なので、保育園、幼稚園の数を増やしてほしい。

4) 3) で書いた「何かこうしたい(良くしたい)」という願いは、どうしたら実現できますか。(記述式)

だれが・何を・どうしたらよいか をキーワードに

市が、保育園、幼稚園をつくる。
待機児童を減らせばよい。

生徒C

例) ○○の場所で交通事故が多いので、ガードレールを新しく設置したい。

- ・小倉台地区で、暗いところが多いので、街灯を増やしたい。
- ・戸手台西側公園ないマポールが車道に出る人が多いので、こまめに点検するとよい。
(公園側)

4) 3) で書いた「何かこうしたい(良くしたい)」という願いは、どうしたら実現できますか。(記述式)

だれが・何を・どうしたらよいか をキーワードに

- ・市議会議員さんが「街灯を増やしたい」と意見し、提案する。
- ・市役所に頼り、提案する。

生徒D

例) ○○の場所で交通事故が多いので、ガードレールを新しく設置したい。

不妊者や事故が多いので、街灯や交番を増やしてほしい。
(暗い場所)

4) 3) で書いた「何かこうしたい(良くしたい)」という願いは、どうしたら実現できますか。(記述式)

だれが・何を・どうしたらよいか をキーワードに

市議会に、持って行ってぎろんしてもらう。
警察官がパトロールを強化する。(とくに夜)

資料 12 毎時間行った一言ふりかえりカード

社会科学習ふりかえりカード

6年 組【

1

☆毎時間の学習で、思ったこと・気付いたことなどを簡単にまとめましょう。

[illegible]

資料13 参考文献

- ・「小学校学習指導要領解説」文部科学省 平成20年
- ・「小学校 新学習指導要領の展開 社会科編」北俊夫・片上宗二編著 明治図書 平成20年
- ・「社会参画と社会科教育の創造」唐木清志・西村公孝・藤原孝章著 学文社 平成22年
- ・「新版 社会科教育事典」日本社会科教育学会編 ぎょうせい 平成24年
- ・「社会科教育 2014年10月号」明治図書 平成26年

社会的事象に主体的にかかわりよりよい解決方法を見いだす生徒の育成 ～地理・歴史・公民の三分野での話し合い活動を通して～

1. 設定理由

社会科の究極的な目標である「公民的資質の基礎」を養うには、「社会に関する関心の高まり」、「社会的事象に対する多面的・多角的な考察」が大切である。また、「平和で民主的な国家・社会の形成」のためには、社会的事象に主体的に関わる力や、社会集団の中で話し合い、よりよい解決方法を見いだす力が大切であると考ええる。

そこで、自らの生活とかかわりが深い教材を使用したり、社会的事象を多面的・多角的に考察したりして社会的認識を深めることで、友だちと話し合いよりよい解決方法を見いだし社会的事象に主体的に関わっていける生徒を育てたいと考え、本研究の主題を設定した。

2. 研究仮説

- (1) 自らの生活とかかわりが深い教材を取り入れれば、社会的事象を自らのこととしてとらえ意欲的に学習にとりくみ、社会的事象に主体的に関わるようになるだろう。
- (2) 話し合いの設定を工夫し、グループでの意志決定を繰り返し行えば、自己の社会認識が深まり、よりよい課題解決方法を見いだすことができるようになるだろう。

3. 研究内容

- ア 地理的分野（人口の視点から、これからの佐倉市について考える学習）
 - ①生徒にとって身近な教材の活用
 - ②話し合いの工夫
- イ 歴史的分野（「貿易ゲーム」を通してこれからの日本について考える学習）
 - ①話し合いの工夫
- ウ 公民的分野（マンションの住民の立場から社会集団について考える学習）
 - ①生徒にとって身近な教材の活用
 - ②話し合いの工夫

4. 結論

- 自らの生活とかかわりが深い教材を取り入れることにより、生徒が社会的事象に主体的にかかわるようになることが検証できた。
- 話し合いの設定を工夫し、グループでの意志決定を繰り返し行うことにより、自己の社会認識が深まり、よりよい課題解決方法を見いだすことができるようになることが検証できた。

1. 研究主題

社会的事象に主体的にかかわりよりよい解決方法をみいだす生徒の育成
～地理・歴史・公民の三分野での話し合い活動を通して～

2. 主題設定の理由

(1) 学習指導要領から

本研究は、中学校学習指導要領第2章第2節社会科の目標を受けて設定している（資料編 P1 参照）。社会科の究極的な目標である「公民的資質の基礎」を養うには、「社会に関する関心の高まり」、「社会的事象に対する多面的・多角的な考察」、国土と歴史に対する理解と愛情、基礎的教養が必要であり、それらを基礎として、平和で民主的な国家・社会を形成する力が育まれる。また、「平和で民主的な国家・社会の形成」のためには、社会的事象に対して受け身ではなく、主体的に関わっていく力や、社会を形成する集団の中で話し合い、よりよい解決方法を見いだす力が大切であると考え。

そこで、自らの生活と関わりが深いと感じられる教材を使用したり、社会的事象を多面的・多角的に考察したりすることによって、社会的な事象や課題の本質に迫る経験を積ませたい。その上で、友たちと話し合うことにより、よりよい解決方法を見だし、社会的事象に対して、受け身ではなく主体的に関わっていける生徒を育てたいと考え、本研究の主題を設定した。

(2) 印教研主題から

よりよい社会の実現に寄与する『生きる力』を培う社会科学習
～自ら課題をみだし、自らの考えを実現できる児童生徒の育成をめざして～

本研究は、印教研社会科学研究部の主題を受けて設定している。「自ら課題をみいだす」ためには、社会的事象を自分とのつながりの中でとらえることが必要であると考え。また、「自らの考えを実現」するためには、みいだした課題を多面的・多角的に考察し課題の本質に迫り社会的認識を深め、その上で他者との意見交換を重ね自己の考えを再構築し、自らの考えを実現することが求められる。それこそが「生きる力」であり、社会科の究極の目標でもある「公民的資質」とも同質のものであると考え。本実践では、地理・歴史・公民と、三分野の実践を通して「生きる力」を培うことをめざした。

(3) 生徒の実態から

2015年度入学生徒87名（2016年7月アンケート実施より）

本研究では、2015年度入学の生徒（3学級87名、現3学年）について考察する。アンケートの実態（資料編 P1～2 参照）からは、自分なりの意見をまとめることを「苦手」と考えている生徒が非常に多いことがわかる。そこで、様々な場面で「立場」を意識して考えることができる教材や、思考ツールを活用したりすることにより、自分の意見をまとめることが苦手な生徒も、自分の考えを整理し意見をまとめやすくする工夫をしていきたい。また、社会の課題を発見することは比較的できると考えている生徒が多いが、その解決についての方法を考え

ることになると、若干苦手と考える生徒が増える。そこで、自らの生活とかかわりが深いと感じられる教材や課題を設定し、意見交流の場を繰り返し重ね友達と話し合う中で、よりよい解決方法をみいだす経験を積ませていきたい。

3. 主題について

社会的事象に主体的にかかわりよりよい解決方法をみいだす生徒の育成
～地理・歴史・公民の三分野での話し合いを通して～

(1) 社会的事象に主体的に関わる

「社会的事象に主体的に関わる」とは、社会的事象について、自らの意志に基づいて考え判断し、行動に移そうとする態度であると考ええる。

本校の生徒について、多くの教職員が「言われたことはしっかりやるが、自ら考えて行動する力が弱い」と感じている。社会に出た時に、決められたことや世の中の大勢を占める意見に従うだけの人間にならないためにも、自らの意志に基づいて社会的事象に主体的に関われる生徒を育てていきたいと考えた。

(2) よりよい解決方法をみいだす

「よりよい解決方法をみいだす」ためには、まずは社会的事象や課題を多面的・多角的に考察することが大切である。社会的事象や課題は、様々な立場から、それぞれの見方や考え方、心情等を理解したり、課題や事象の様々な側面をとらえたりしながら総合的に判断することで社会的認識が深まる。現実の社会集団では、それぞれの立場の違い等により様々な対立が起きるが、一方の立場からだけものをを見ていては、本質が見えず、対立が解消されないまま進んでいくことも考えられる。だからこそ、「多面的・多角的」なものの見方や考え方が重要となる。

そうすることで得られた、それぞれの価値観が、話し合いを通して他者の価値観とぶつかり合う中で、自己の価値観が再構築され、より深い社会的認識が形成される。よって、話し合いを重ねる中でこそ、よりよい解決方法を見いだすことができるようになる考える。本実践では、それぞれの「立場」を意識させたり、話し合いの判断基準を明確化したりする中で、よりよい解決方法をみいだす経験を積ませていきたいと考えた。

(3) 地理・歴史・公民の三分野での話し合い

学習指導要領（資料編 P1 参照）にあるように、中学校の社会科学習は、地理的分野・歴史的分野で養った地理的な見方や考え方、歴史的な思考力及び学び方にかかわる技能を発展的に活用し、それらを一層高めるようにすることが重要とされている。そこで、三分野を通しての話し合い活動を積み重ね、充実させていくことをめざした。

4. 研究の目標

各分野の学習を通して、教材や話し合い等の工夫を行うことにより、社会的事象に主体的にかかわり、より良い解決方法をみいだす生徒が育つことを実践を通して明らかにする。

5. 研究の実践

【研究内容】

ア 地理的分野（人口の視点から、これからの佐倉市について考える学習）

① 生徒にとって身近な教材の活用

（自分たちの住む佐倉市の人口推計データ、現役の萩市長の話）

② 話し合いの工夫（グループ形態、役割分担、思考ツールの活用）

イ 歴史的分野（「貿易ゲーム」を通してこれからの日本について考える学習）

① 話し合いの工夫（「立場」を意識した話し合い）

ウ 公民的分野（マンションの住民の立場から対立の解決方法を考える学習）

① 生徒にとって身近な教材の活用（マンションの住民の立場から）

② 話し合いの工夫（グループ形態、役割分担、話し合いの判断基準の明確化、「立場」を意識した話し合い、グループでの意志決定の積み重ね）

【研究方法】

ア 生徒の変容の分析 イ 生徒の感想等の分析

6. 研究の仮説と手立て

【仮説①】

自らの生活とかかわりが深い教材を取り入れれば、社会的事象を自らのこととしてとらえ意欲的に学習にとりくみ、社会的事象に主体的にかかわるようになるだろう。

【手立て①】 自らが住む地域のデータや地域の人材を活用する。

地理的分野では、自らが生活する佐倉市の人口推計データを読み取って佐倉市の実態を把握し、そこから自分たちが導き出した課題や解決の方法を、佐倉市長に伝えた。その上で市長から講話を聴くことで、社会に対する自分たちのかかわり方を意識し、社会的事象に主体的にかかわるようになると思った。

【仮説②】

話し合いの設定を工夫し、グループでの意志決定を繰り返し行えば、自己の社会認識が深まり、よりよい課題解決方法を見いだすことができるようになるだろう。

【手立て①】 「立場」を意識した話し合いを繰り返し行う。

社会的事象に対して「立場」を変えて考えて見ることで、多角的な考察ができるようになると思った。例えば、歴史的分野では産業革命の学習を通して、資本家と労働者という対立する両者の立場から考えた多角的な話し合いを行った。また、歴史のまとめとしての「貿易ゲーム」では、世界貿易のシミュレーションを行い、それぞれの国の「立場」を意識した多角的、ゲームによる「競争」と実社会での「協力」という多面的な話し合いを行うことで、それぞれの価値観を大きく揺り動かし、社会的認識が深まると考えた。

公民的分野では、自分たちが住むという設定の仮想マンションで起こる様々な課題に対して、それぞれの住民の「立場」を意識して考える多角的な話し合いを行った。同じ社会集団内での「対立」を「合意」に導くためには、話し合いが大切であることは、生徒は経験的に感じていると考える。そこで、それぞれの住民の「立場」を意識させることにより、より社会的認識が深まると考えた。

【手立て②】 「効率と公正」「両性の本質的平等」等、判断基準を明確化した話し合いを通して解決方法を選択していく学習を継続的に重ねる。

社会集団では、話し合いによって「対立」を「合意」に導くことが大切である。その過程では、様々な「立場」からの意見がある中で、一つの方法を選択することを迫られる。それぞれの「立場」に配慮しながらも、社会集団としてより良い「合意」を導き出すためには、価値判断ができる基準が必要である。そこで、「効率と公正」「両性の本質的平等」といった多面的な判断基準を意識しながら話し合いを重ねることで、よりよい課題解決方法を導き出せるようになると思った。

7. 仮説に関する授業の実際

ア 仮説①に関わる授業

地理的分野「人口の視点から、これからの佐倉市について考える学習」

日本の諸地域の学習で、人口の視点から中国・四国地方の学習をした後、人口の視点から、佐倉市の人口推計（資料編 P3 参照）を読み取り、課題と解決方法を考える学習を行った。その後、佐倉市長の学校訪問に合わせて、自分たちが考えた課題や解決方法を市長に伝え、市長から佐倉市の課題や現状について講話（資料編 P5 参照）を頂いた。

○生徒が考えた佐倉市の課題と解決方法（資料編 P5 参照）

＜人口減少の課題から＞

- ・外国人を呼ぶ。 ・町おこしを行う。 etc…

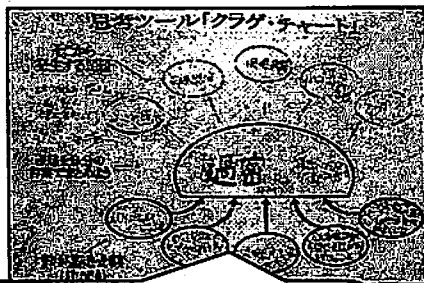
＜少子高齢化の課題から＞

- ・公共施設を増やす。
- ・子どもを育てやすい町にする。 etc…

＜人口の地域格差の課題から＞

- ・交通網を整備する。
- ・人口が少ない地域に住宅街をつくる。

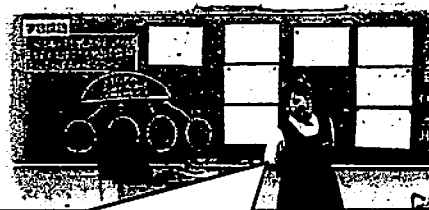
etc…



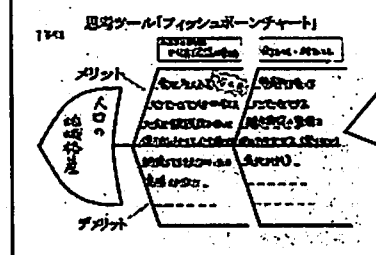
くらげチャートを利用し、様々な資料を読み取り、事実を書き出し、そこから課題を考えた。また、課題から発生する具体的な問題を考えた。



話し合い中…



私たちのグループは〇〇という課題があると考え、対策として△△という方法を考えました。



フィッシュボーンチャートを利用し、課題に対する対策を考え、その際のメリット・デメリットについても話し合った。（資料編 P4 参照）

○蔵市長の講話（資料編 P5 参照）



生徒：
「公共施設
はどんな施
設をつくっ
ていけば良
いのです
か？」

市長：
「これからは公
共施設を増やす
時代ではありま
せん。効率的に
減らしながら満
足いく建物に変
えていくことが
大切です。」

- ・ 佐倉の課題、全国的にもですが、「人口減少」「少子高齢化」があります。もうひとつ大きな問題として「インフラ」があります。道路や橋、下水等が40年くらい経ち老朽化しています。現在の予算は420～430億だが、この2つをやろうとすると、10年間でだいたい500億かかります。限られた財源の中で、いかに乗り切るかを地方自治体の知恵が試されています。
- ・ 佐倉の魅力を増やして、皆さんが「佐倉から離れたくない」と思うようにしないと。
- ・ いかにお金を分配して佐倉市を良い方向に導いていけるかを毎日考えている。だから、**みなさんが勉強してつくってくれた資料は大変ありがたい。**
- ・ 大学を卒業した後も、佐倉に残って欲しい。結婚しても佐倉で子育てをして欲しい。

イ 仮説②に関わる授業

歴史的分野 『貿易ゲーム』を通してこれからの日本について考える学習」

歴史的分野の学習のまとめとして「貿易ゲーム」（資料編 P8～10 参照）による、世界貿易のシミュレーションを行った。先進国、途上国等をモデルとしたいいくつかのグループに分け、それぞれの条件が違う中でスタートし、生産競争を行わせた。その後、自分たちが行ったゲームは、現在の世界貿易の縮図ということに気付かせ、それぞれの国の立場から意見交流をし、国際社会で日本に求められていることについて話し合った。

ウ 仮説②に関わる授業

公民的分野 「マンションの住民の立場から社会集団について考える学習」

公民的分野では、自分たちが住むという設定の仮想マンションの自治会や家庭内で起こる様々な対立に対して、それぞれの「立場」を意識して話し合い解決方法をみいだす学習（資料編 P13～16 参照）を行った。

様々な立場の人が住むマンションでは、様々な「対立」が発生する。それらに対し、自分たちが属する自治会としての解決方法を考えた。話し合いは全部で4回設定した。

- ① マンション内で発生する様々な対立についての話し合い。自治会としてどの問題から解決していくか話し合った。（明確化した判断基準は特になし）
- ② マンション内で発生している騒音問題について話し合った。

(明確化した判断基準は「効率と公正」)

- ③ マンション内で再び発生したゴミ問題について話し合った。

(明確化した判断基準は「効率と公正」)

- ④ 新しく引っ越してきた家庭内で発生した家事分担の問題について話し合った。

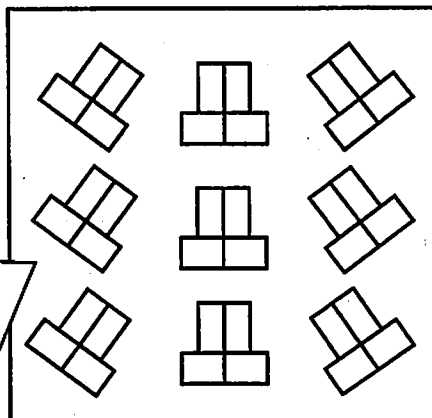
(明確化した判断基準は「効率と公正」「両性の本質的平等」)

「効率と公正」に関しては、判断表を使用し、それぞれの観点から点数化を行い、多面的に判断する上での一つの目安とした。(資料編 P14 参照)

○話し合い形態のポイント



4人の T 字型が基本。両サイドの列は斜めに机を向けることで話し合い終了後も、机を移動せずに全員が黒板を見ることができる。



○話し合いの役割分担

司会 … 司会が指名をしながら全員からの意見を引き出します。誰も意見が出なかった時は司会から意見を述べます。話し合いのまとめに関しても、司会が責任をもって行います。

道具 … 道具を準備します。

発表 … グループの意見を発表します。

記録 … ホワイトボード等にグループの意見を書き込みます。

役割分担が明確だと、一人一人が責任をもって主体的に話し合いにのぞむことができると考える。

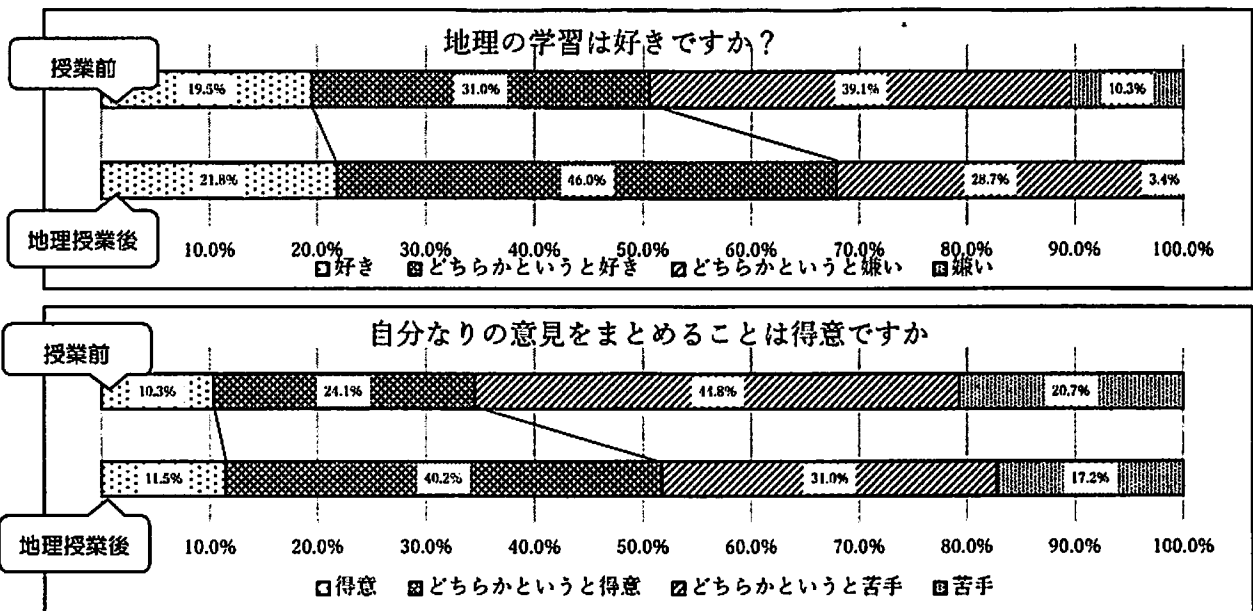
8. 仮説の検証

【仮説①】

自らの生活とかかわりが深い教材を取り入れれば、社会的事象を自らのこととしてとらえ意欲的に学習にとりくみ、社会的事象に主体的にかかわるようになるだろう。

【手立て①】 自らが住む地域のデータや地域の人材を活用する。

「地理の学習は好き」、「自分なりの意見をまとめることが得意」と答えた生徒の増加が見られた。地理の学習が好きになることによって、生徒は学習に意欲的にとりくむようになり、意欲的に学習にとりくむことで、社会的事象に主体的に関わろうとするようになると思う。また、主体的に関わるからこそ、社会的事象を自らのこととしてとらえ、社会的事象に対して、自分なりの意見をまとめることができるようになったと思う。



また、授業後の生徒のまとめや感想の検証を行った。

ア 生徒のまとめから（資料編 P6 参照）

学習課題「佐倉市をより良い町にするにはどうしたらよいだろうか？」

- A 佐倉市の課題に対する個人でできる具体的解決方法について書いている 55%
- B 佐倉市の課題に対する個人ではできない解決方法を書いている 23%
- C 佐倉市の課題に対する解決方法が具体的ではない 17%
- D 課題や解決方法がとらえられていない 5%

Aの例。

㊦

少子高齢化が増えているので、佐倉市に若い人が来るように、自分も大人に
なっても佐倉市に住み続けたいようにしたい。

Bの例。

㊦

人口を減らさないために、新しい建物で、小さい
子供から大人まで、楽しめるようなテーマパーク的な
ような物を作ってみたいと思う。

Cの例。

㊦

自分ばかりでできる問題を解決したい
と思った。

イ 生徒の感想から（資料編 P6～7 参照）

・人口減少はコッラ。とても重要な問題。でも、対策はどうなっているの
か私はよく分からない。そういう知識を知らないから、もとめてこれか
らの佐倉を、日本を引、抜いていかなきゃ、と思った。何でもお金がかかる
から、お金のせいで今よりよくなるべきことやらなきゃと思った。

今日の授業で初めて知ったことは、出生率や死亡率のこと
で、私も出生率や死亡率を利用したことがあったの
で、利用するのは、税金の支払いなどだと思った。
今の佐倉市にできることは、今の佐倉市に
住むことだと思いました。

沢山の意見や話がきけたので、授業以外でも佐倉の事を
考えたいと思いました。

全ての基本となる
「知ること」をやっ
ていきたいという意見
が多くあった。

授業以外でも、自分の住む
地域について考えようとして
いる。

人口の変化を見て、自分も他人事ではなく、しっかりと考えていく必要がある問題だと思った

人口の変化を実際にそこにある問題としてとらえることができた。

話を聞いて、何をやるに必要なのか、少子高齢化などについて不足している人だと思っています。今私達は子供なのでどうすることもできませんが大人になった時、しっかりと働いてその分、育ててもらった佐倉市に恩返しの意味も含めて納税しなければいけないと思っています。

人口減少と財政の問題に気付き、税を払うことの意味へと意識を向けることができた。

自分が思っていたよりもずっといい地域になっていて、それは食べるために努力して下っている方がいるんだと気づきました。自分のできることをしていきたいと思いました。問題はたくさんあるけど、でも、それをどうしたらいいのか、自分がやるべきことに責任を覚えることができて、すごくうれしかったです。

佐倉のために頑張っている人がいることに気付くことができた。

・市の金で建てたものまで大切にしています。
・市の発展のために市民一人一人が意見を述べていなければいけないと思った。
・税金も、市の物にも。
・「二重課税」というのは、税を払った上で、さらに税金を払うのは市が二重課税だと思った。

「一人一人」の意見の大切さ、また二重と財政の関係について考えられた。

市の事を考え、人を集めるためにまたまた課題があり、やらなくてはならないことが多いのか、わかった。自分達が未来のために何かやらないといけない。

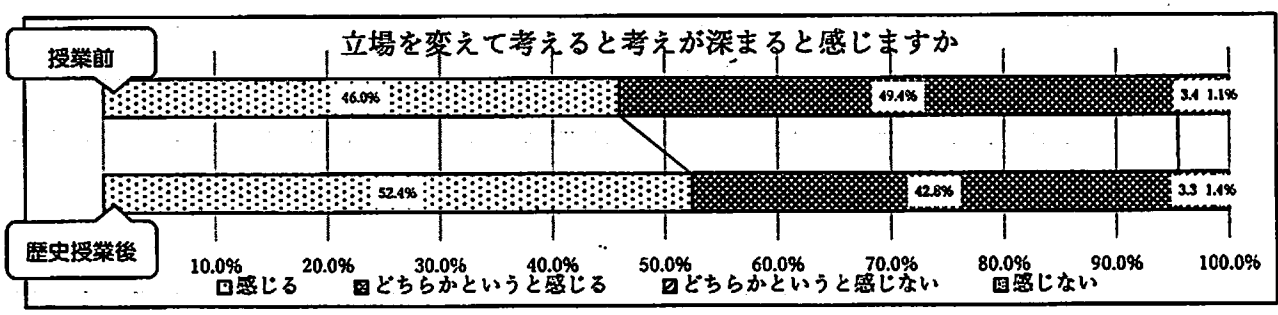
「～をしていきたい」と書く生徒は多かった。

【仮説②】
話し合いの設定を工夫し、グループでの意志決定を繰り返す行えば、自己の社会認識が深まり、よりよい課題解決方法を見いだすことができるようになるだろう。

【手立て①】 「立場」を意識した話し合いを繰り返す行う。(資料編 P11～12 参照)

ア 生徒のアンケートから

立場を変えて考えることで考えが深まると感じる生徒が増加した様子が見られる。



イ 生徒の感想から (資料編 P10～11 参照)

自国を理解した上で他国とかがありをもつことです。金もうけも大切ですが、他国と触れ合うことを大切にしたいと思っています。それを育てていくことでより大きな利益になると思います。

お互いふれ合った上での気付きが、お互いに大きな利益になると気付いた。

自分の国がそこをうけるのは大切ですが、それをうけてた人の国と触れ合う個性を養うことで、自分も相手も利益をなすことが大切だと思います。そして、相手も自分の国に利益をうけたらいいと思います。

経済面で見るともうけることが大切だが、他の側面で考えるとお互いに成長することが大切と考えている。

立場を変えて考えると、今まで分からなかった現状や解決が必要なものなど、色々な物が見えてくると感じました。

この立場ではこれが良いと思っていたけど、この立場だとこれは嫌だなという風に、立場を変えることで7人の気持ちから自分の考えが広がると思いました。

立場を変えて考えると、考えの幅の広がるということを感じている。

自国のもう一つのことを考えるのも大切だと思いますが、他国との友好な状態を維持していくため、世界の貧富の差を一つずつ減らすためにも平等で、対等な関係を築いていくことが大切だと思います。

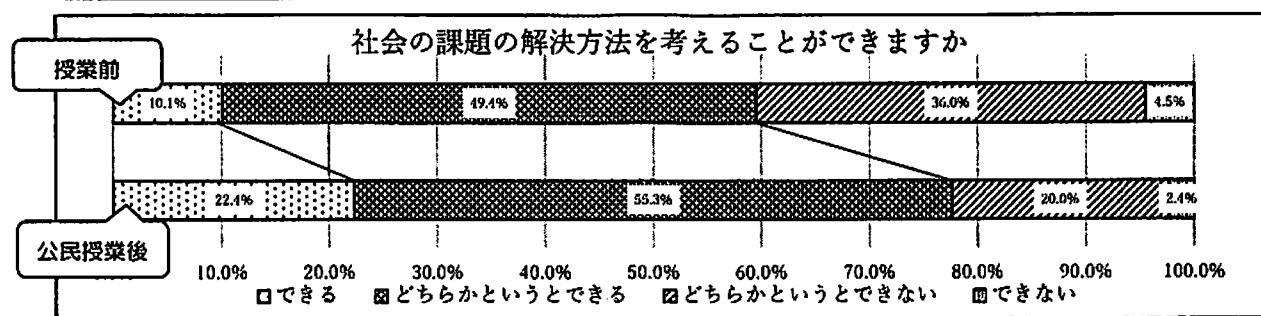
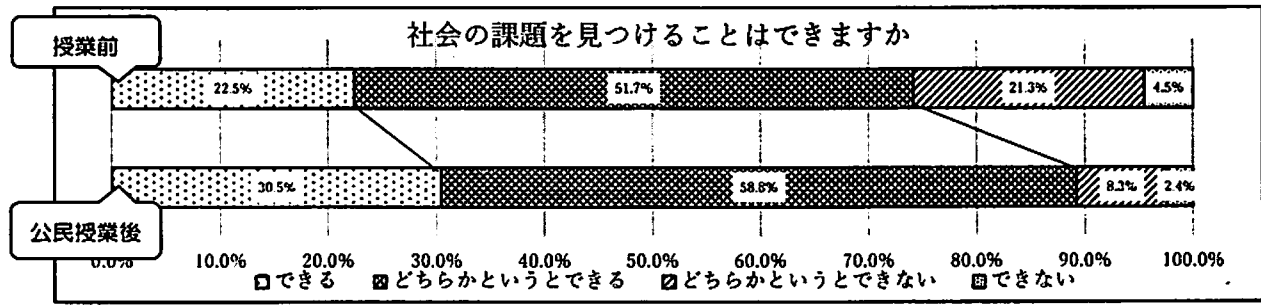
経済的な面、文化・価値観など、色々な面から見ていく必要がある。

自国の経済面、他国との友好面と2つの面で世界貿易を考えている。

【手立て②】 「効率と公正」「両性の本質的平等」等、判断基準を明確化した話し合いを通して解決方法を選択していく学習を継続的に重ねる。

ア 生徒のアンケートから

「社会の課題を見つけることはできる」「社会の課題の解決方法を考えることができる」と感じる生徒が増加した様子が見られる。よりよい課題解決方法を見つけるためには、社会的認識を深め、課題の本質をとらえることが前提であると考え、生徒の回答からは、課題をとらえ、解決方法を考えられるようになった生徒が増加した様子が見られた。



イ きまりの評価表から

きまりの評価表を使って「効率」と「公正」の観点を意識し多面的に話し合い、よりよい解決方法を考えることができた。

騒音問題は、2つの意見を多面的に比較した。

1班

項目	第1	第2
① 目的を達成するための適切な手段となっているか。	5・4・③・2・1	5・④・3・2・1
② みんなの時間やお金、努力などが無駄なく使われているか。	5・4・3・②・1	5・④・3・2・1
③ 誰にとっても同じ内容を意味するものになっているか。	5・④・3・2・1	5・④・3・2・1
④ 息抜きをつくる時間にもみんなが参加しているか。	5・4・3・②・1	5・4・③・2・1
⑤ 立場をかえても受け入れられるものになっているか。	5・4・3・②・1	④・4・3・2・1
計	13	20

ゴミ問題は、解決方法を考えた後、評価表で点数化した。

3班

項目	第1	第2
① 目的を達成するための適切な手段となっているか。	⑤・4・3・2・1	5・4・3
② みんなの時間やお金、努力などが無駄なく使われているか。	5・4・3・②・1	5・4・3
③ 誰にとっても同じ内容を意味するものになっているか。	5・4・③・2・1	5・4・3
④ きまりをつくる過程にみんなが参加しているか。	⑤・4・3・2・1	5・4・3
⑤ 立場をかえても受け入れられるものになっているか。	5・4・③・2・1	5・4・3
計	18	15

ウ 生徒の感想から（資料編 P17～18 参照）

今日の話し合いでは自分の意見を主張し、それを解決する話し合いのやり方を学んだ。また、相手の意見を尊重する大切さを感じた。	判断基準や、「みんな」での話し合いの大切さを感じている。
話し合いを通して、自分の意見と他の人の意見が異なることを知り、深く考えた。意見を言うときは、相手の意見もよく聞いて、自分の意見を言うことが大切だと感じた。	話し合いの難しさを感じながらも、意見の深まりを実感した。
話し合いを通して、自分の意見と他の人の意見が異なることを知り、深く考えた。意見を言うときは、相手の意見もよく聞いて、自分の意見を言うことが大切だと感じた。	様々な視点で話し合うことで良い意見が導き出せると感じている。
話し合いを通して、自分の意見と他の人の意見が異なることを知り、深く考えた。意見を言うときは、相手の意見もよく聞いて、自分の意見を言うことが大切だと感じた。	お互い意見を出すことで、更に良い解決方法になると感じている。
1人の立場に立つことにより、意見が出た部分が多かったけれど、思いつきにはない、知事や公正などのバランスも大切だと感じました。話し合いをする中で、みんなが納得するまでやり続けることが大切だと感じました。そして、それ以上に話し合いをするのは大切だと感じました。	みんなの納得の難しさを感じつつ話し合いの大切さも感じている。

9. 成果と課題

<成果>

- 生徒の生活とかかわりが深い教材を取り入れることにより、生徒が自らの生活とのかかわりの中で社会的事象をとらえ意欲的に学習にとりくみ、社会的事象に主体的にかかわるようになることが検証できた。
- 話し合いの設定を工夫し、グループでの意志決定を繰り返すことにより、自己の社会認識が深まり、よりよい課題解決方法を見いだすことができるようになることが検証できた。

<課題>

- ▲検証により、一定の成果があったと言える。これから公民分野では、実際の社会について更に具体的に学んでいく。ここで培った力を発揮し、よりよい解決方法を導き出せるような話し合いを継続していけるようにしたい。
- ▲主体的なかがわりが建前だけのかかわりにならないように、情意面でも引き続き支援を続けていきたい。
- ▲2学年3分野に渡って生徒の変容とらえてきたが、それぞれの単元やそれぞれの実践でより詳細な研究を行い、実践と変容の関係性を詳しく検証していく必要がある。
- ▲集団としての分析を中心に行ったが、個人内での変化も詳細に分析していくことで更に研究が深まると考える。

資料編

＜学習指導要領より＞ …… P1

＜生徒の実態＞

○アンケート結果 …… P1～2

＜地理的分野の実践について＞

○指導計画（5時間計画） …… P2

○生徒の読み取り資料の一部（佐倉市人口推計から） …… P3

○使用した思考ツール …… P4

○思考ツールの活用について …… P4～5

○生徒が話し合いで考えたアイデア（フィッシュボーンチャート）例 …… P5

○萩市長の講話 …… P5

○まとめや感想の例 …… P6～7

＜歴史的分野の実践について＞

○貿易ゲーム指導案 …… P8～9

○貿易ゲーム資料 …… P9

○貿易ゲームの様子 …… P10

○生徒の感想の例 …… P10～11

○立場を意識した話し合い その他のとりくみ …… P11～12

＜公民的分野の実践について＞

○指導計画（4時間計画） …… P13～16

○生徒の感想の例 …… P17～18

＜その他＞

○特別支援学級の学習 …… P19

○ICT活用の例 …… P20

○参考文献・参考ウェブサイト …… P20

<学習指導要領より>

中学校学習指導要領 第2章 第2節 社会 第1 目標

広い視野に立って、社会に関する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

公民的分野 3 内容の取扱い

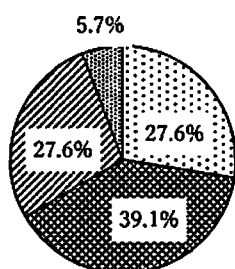
(1) 内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

ア 地理的分野及び歴史的分野の学習の成果を活用するとともに、これらの分野で育成された能力や態度が、更に高まり発展するようにすること。また、社会的事象は相互に関連し合っていることに留意し、特定の内容に偏ることなく、分野全体として見通しをもったまとまりのある学習が展開できるようにすること。

<生徒の実態>

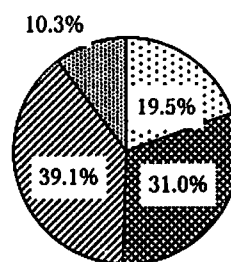
○アンケート結果

社会科の学習は好きですか(H28.7実施)



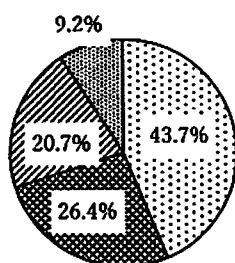
□好き ■どちらかという好き ▨どちらかという嫌い ▩嫌い

地理の学習は好きですか(H28.7実施)



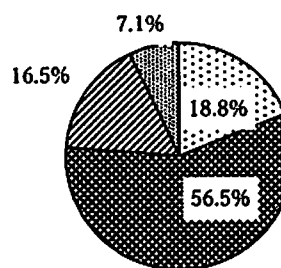
□好き ■どちらかという好き ▨どちらかという嫌い ▩嫌い

歴史の学習は好きですか(H28.7実施)

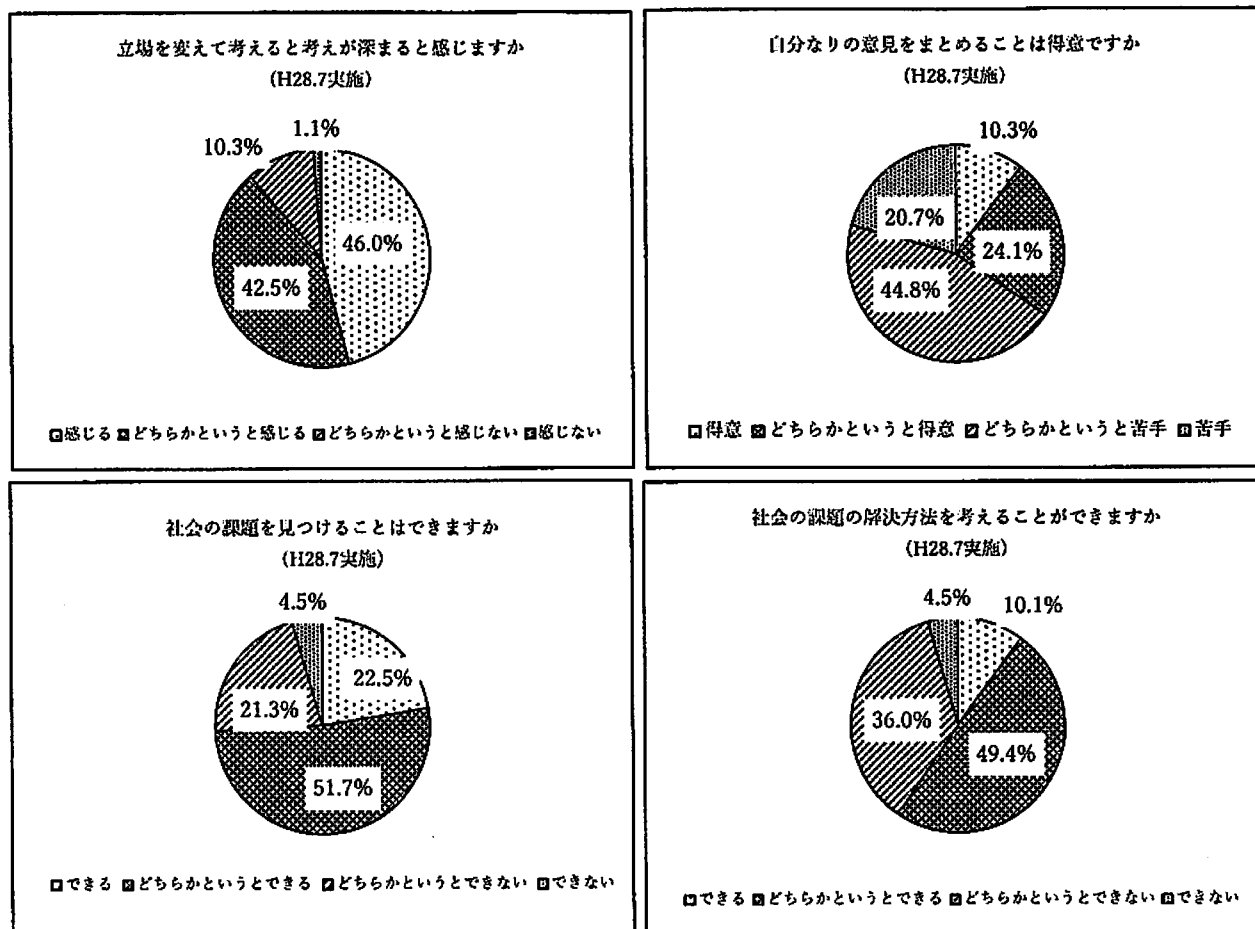


□好き ■どちらかという好き ▨どちらかという嫌い ▩嫌い

公民の学習は好きですか(H29.6実施)



□好き ■どちらかという好き ▨どちらかという嫌い ▩嫌い

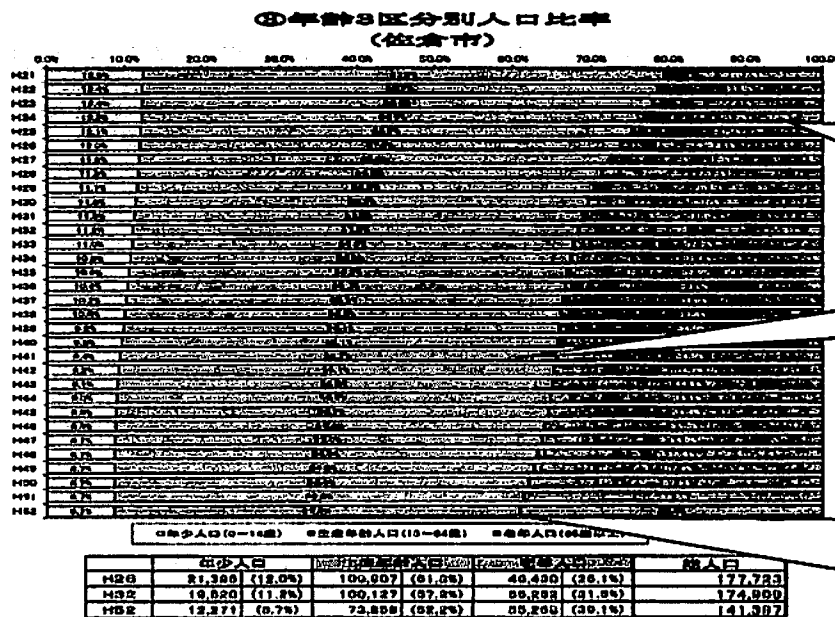
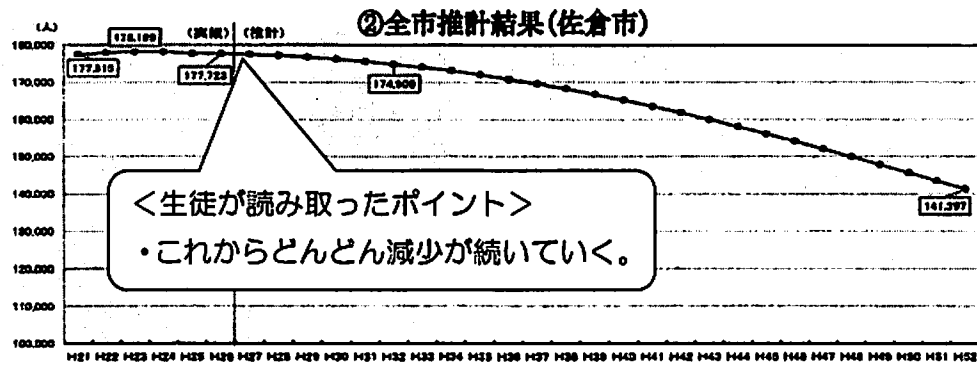


<地理的分野の実践について>

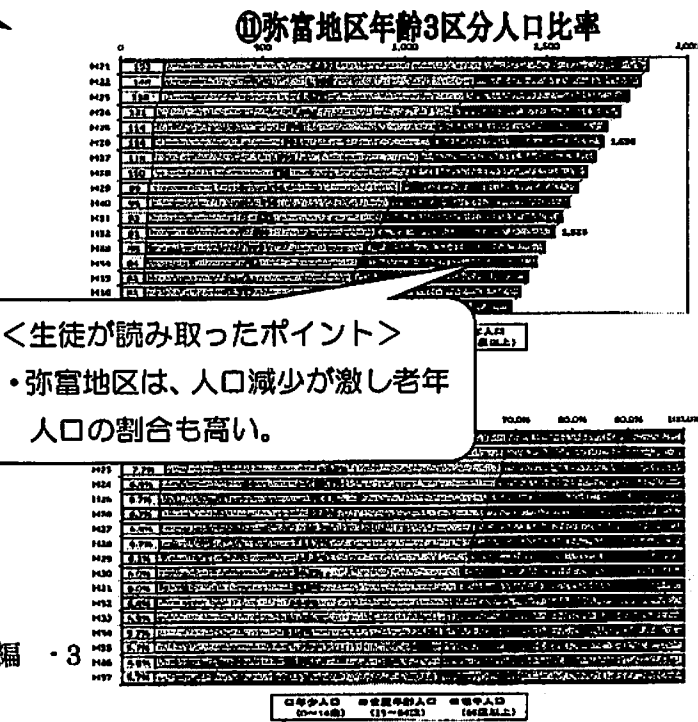
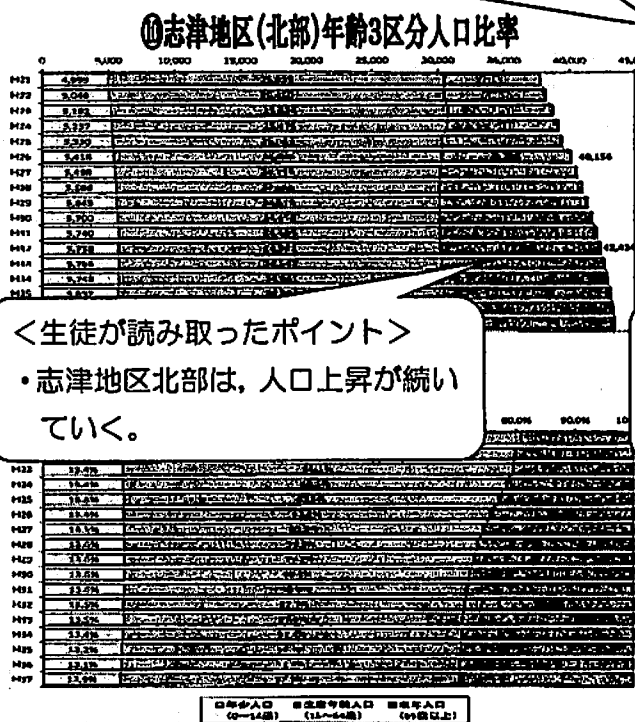
○指導計画（5時間）

過程	時数	内容
見いだす	1	・地図や雨温図等の資料から、中国・四国地方の地形や気候等の地域的特色をつかむ。
調べる	2	・広島市（過密地域）の人口の特徴を読み取り、課題や解決の方法について話し合う。 ・馬路村（過疎地域）の人口の特徴を読み取り広島市と比べ、同じ中国・四国地方に格差があることに気づかせ、格差を解決する方法について話し合う。
深める 確かめる	1	・佐倉市の人口の特徴を佐倉市人口推計から読み取り、課題や解決の方法について話し合う。
まとめあ げる	1	・佐倉市を人口の視点から見て自分たちが考えた課題や解決方法を蕨市長に発表し、講話を頂く。

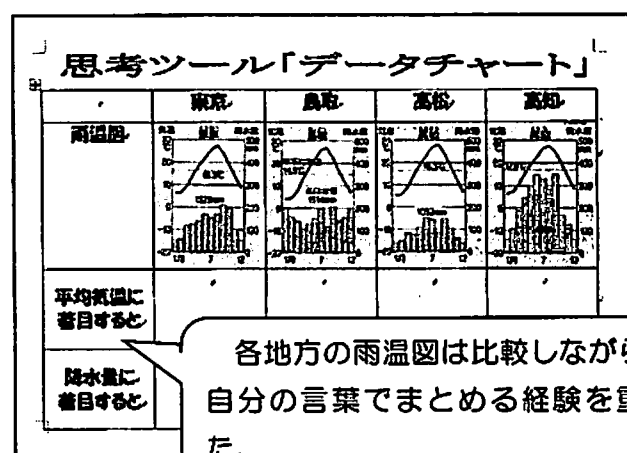
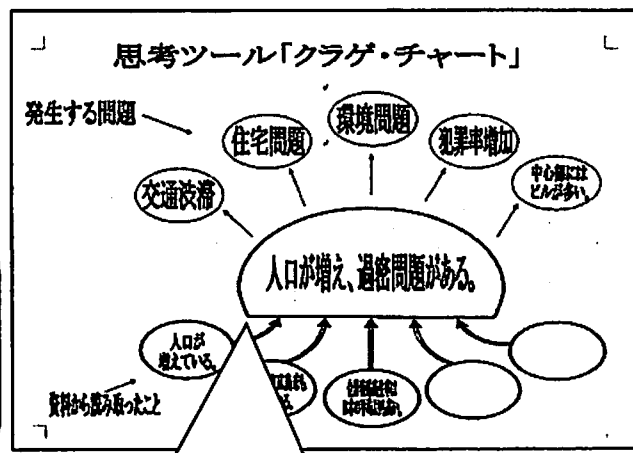
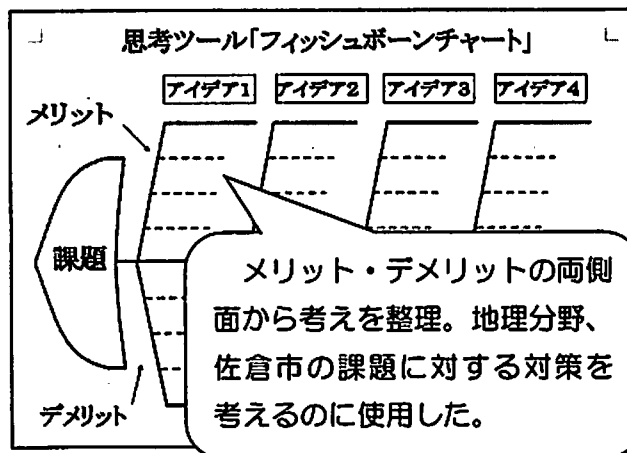
○生徒の読み取り資料の一部（佐倉市人口推計から）



＜生徒が読み取ったポイント＞
・地区によって人口変化の特徴が大きく違う。

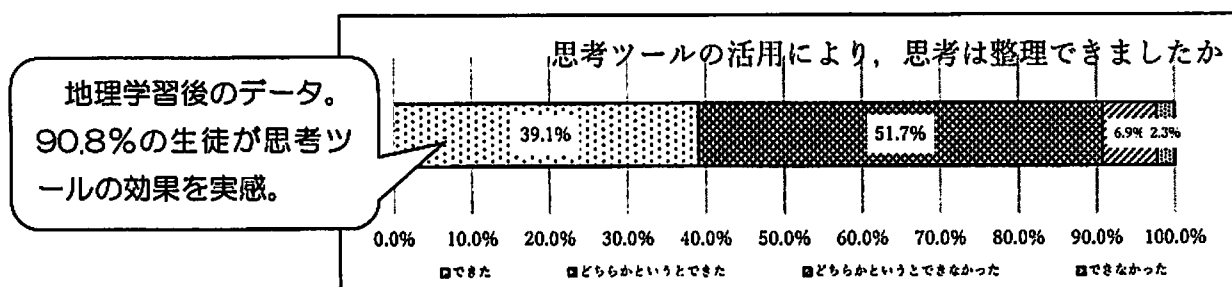


○使用した思考ツール



読み取ったことからポイントを整理、また、そこから発生することについても考えられるようにしました。地理分野、佐倉市のデータを読み取り、課題をとらえ、そこから発生する具体的問題を考えるのに使用した。

○思考ツールの活用について



ポイントのクラゲチャートなどで自分の考えをレイアウトすることができた。
トもレイアウトし、家で見直しをした時、とても見やすかった。

今回の調べ方は、思考ツールを使い、細かく、詳しく自分の中で考えることができた。

クラゲチャートやフィッシュボーンチャートは、資料の読み取りが得意ではない私にとってはものすごくまとめやすかった。自学などでそういう学習をしていたらと思った。

とても考えが深まりました。クラゲチャートは自分なりの意見をまとめるのが苦しい私にはとても分かりやすかった。

見直しの時にも見やすいという感想。

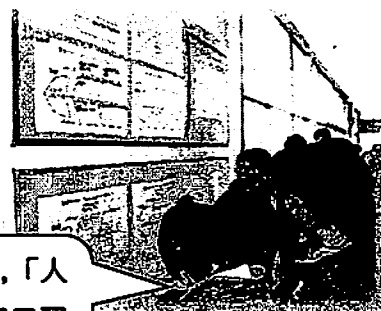
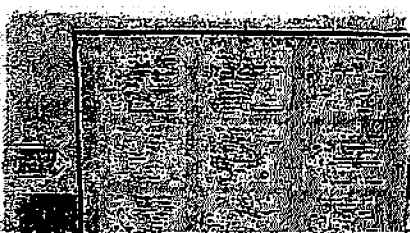
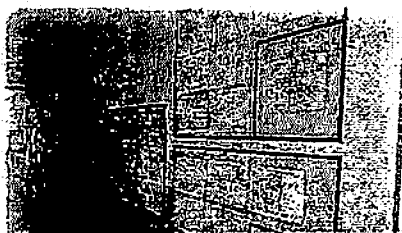
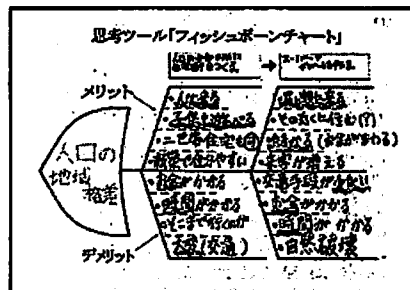
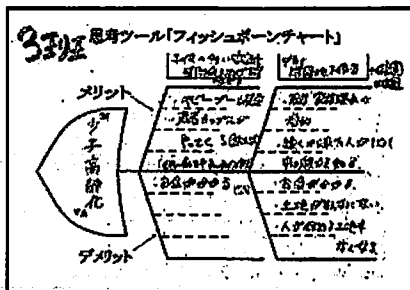
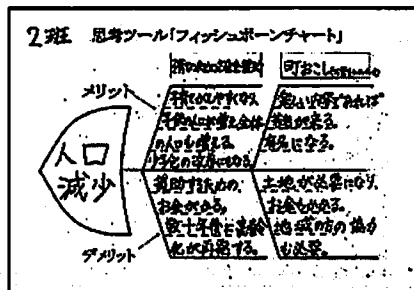
資料の読み取りが苦手な生徒は特に実感している様子が見られる。

● 色々な地域のかかえている課題や問題を「フィッシュボーンチャート」とおいて、くわしく矢張りすることができました。

この2つは各学力層の生徒の感想。

思考ツールを使って学習したほうが、まとめやすかった。

○生徒が話し合いで考えたアイデア（フィッシュボーンチャート）例



各グループが考えた課題解決方法（フィッシュボーンチャート）は、「人口減少」「少子高齢化」「人口の地域格差」「その他」で分類し、学年フロアに張り出しました。学年全体での共有ができた。

○萩市長の講話



- ・若い世代に移り住んでもらったり、観光で来てもらう人にお金を使ってもらったり、ありとあらゆることをやっていく必要があります。
- ・働き場所を増やして、皆さんが大学を出た時に佐倉に住もうと思うようにしなければならない。
- ・空き家が増えているが若い人達が安く入れるように「空き家バンク」をつかって買いたい人につなげるようにした。
- ・佐倉は、千葉県最大の城下町。素晴らしい歴史・文化がたくさん残されている。自然も多い。計画的に開発して税収を確保しなければいけない。
- ・個人からの市民税よりも、法人や固定資産税を増やしていかなければいけない。
- ・街の魅力を上げなければいけない。安心・安全な街づくり。
- ・2025年には、人口が1万人減る勘定。なんとかこれを±0にしたい。出生率は上げている。

○まとめや感想の例

ア 生徒のまとめから

学習課題「佐倉市をより良い町にするにはどうしたらよいだろうか？」

A 佐倉市の課題に対する個人でできる具体的解決方法について書いている

- | | |
|--|--|
| ⑤ 大人に比べて佐倉に住み続け、税金を納めること。
佐倉市のことを多くの人に知ってもらい、佐倉が良い街だと知ってもらうことが出来ると思う。 | ⑥ 地域の行事に参加したりすることで、近所の人との関わりが多くなると思います。その関わりが深くなると自然に人づきあいが出来ると思います。 |
| ⑦ 近所のお年寄りの人々と、「あいさつする」として近所のかかわりを大切にする | ⑧ 佐倉市の人口が今後どのように変化していくのか分かった。そこで自分たちが佐倉市に住み続けたいと思うことが大切だと思いました。 |
| ⑨ 少子高齢化などは、今の私達にはどうしようもないことなの？市にお金が落ちるような買い物や積極的にして、税金をしっかり納めたい。 | ⑩ 大人になった時に、佐倉に企業をつくり上げ、人を呼び込み豊かな街にしたい。 |

B 佐倉市の課題に対する個人ではできない解決方法を書いている

- | | |
|--------------------------------|---|
| ⑪ 佐倉市をより良い町にするには、高齢者に優しい施設をつくる | ⑫ 人口減少している中で、育児しやすい市をつくること大切。他の市との関わりも大切。 |
|--------------------------------|---|

C 佐倉市の課題に対する解決方法が具体的ではない

- | | |
|--|---------------------|
| ⑬ 自分ができることは少ないとは思いますが、少しでもいいことをしたいと思っています。 | ⑭ 711などのコンビニの数を減らす。 |
|--|---------------------|

イ 生徒の感想から

- いろいろな問題がある中で優先度をつけてやらなくてはならないと聞いて、すごく考えてくれていて、いろいろな大変な人だなと思いました。子育てしんどい、すごくかかっていると聞いて、感謝しないといけないと思いました。
- ・人口減少について考えている人が多いのがわかった。
- ・また、お年寄りが増えてきてる中で、その方のための福祉施設を設けることと同時に、若者が住み続けられるための環境を整える必要があるので、両方大切だと思いました。
- ・これから私たちは、千葉県になるべくのこして生活したいと思う。
- 佐倉のために、自分が出来ることは、大きくなってから、佐倉に戻ってくることかな。と思います。(市長さんを見てみたい) その時に、住みやすいようだと、他の人もたくさんいるのかな。と私は思いました。
- 課題の把握をした上で、解決の難しさを感じている。
- 課題解決のために、自分のできることを考えることができた。

これからの問題は、大いにお金がかかるとも大変なんだなと思いました。
 大いなお金がかかるとも大変なんだなと思いました。
 たはんの課題があってそれを改善するように対策を打っているなと思
 ました。子育て支援などの問題もあってお金がかかっているしこれから少子化
 になってしまいました。定年問題も大変な問題で対策を打っているなと思
 いました。佐倉市に大いなお金がかかるのは知らなくて大変な問題だと思
 いました。その問題を
 えて生活してほしいです。
 大いなお金がかかるとも大変なんだなと思いました。

様々な政策には「財政」
 が関わってくるというこ
 とに気付いた。

人口減少や少子高齢化により、市の税金が少なくなること、私達の住みにくい環境を
 作っている、と思いました。
 様々な方法で、住みやすい環境にすることを大切だと思いました。
 何をやるにも、やはりお金が大変なんだな、と思いました。
 大いなお金がかかるとも大変なんだな、と思いました。
 大いなお金がかかるとも大変なんだな、と思いました。
 大いなお金がかかるとも大変なんだな、と思いました。

大いなお金の取り組みを知らなかった所々で、大いなお金だ、と思いました。
 市のおかげで、薬などが700円で済んでいるのがありがたいなと
 思いました。佐倉市で仕事ができるようにしようとしている
 は、とても嬉しいな、と思いました。

佐倉市の現状の取り組
 みに対して感謝の気持ち
 をもった。

佐倉市にお金がかかるんだ、ということを知った。自分たちが今
 佐倉市でくらしているけど、その佐倉市でもやっぱりお金の問題や、
 少子高齢化が、進んでいって、大変な問題で、佐倉市に
 関して、住み続けたい、と思った。

財政の問題に気づき、
 解決のため自分が住み続
 けることが大切だと感じ
 た。

自分達が住んでいるところ、大いなお金がかかる、と思いました。
 大いなお金がかかる、と思いました。
 大いなお金がかかる、と思いました。
 大いなお金がかかる、と思いました。

自分できることを考
 え、それをやっていき
 たいという感想をもった。

市長の語りから佐倉の抱える問題点について
 大いなお金がかかる、と思いました。
 大いなお金がかかる、と思いました。
 大いなお金がかかる、と思いました。
 大いなお金がかかる、と思いました。

市長さんが佐倉市のことを考えていることに思
 いを向けている。

市長さんも佐倉の事を色々考えているんだな、と思いました。
 佐倉の問題は、日本の問題でもあると知り、とても嬉しいと思
 いました。
 町の魅力や安全、少子高齢化問題など全てに大いなお金がかかることが分り、
 大変な事ばかりでした。佐倉の歴史がすごいことも改めて、分り、い
 ろいろな事
 が分かってよかったです。佐倉について毎日考えていると知り、とても
 うれしかったです。その大いなお金がかかる、と思いました。聞いた事を
 佐倉市に伝える、と思いました。

市長さんが佐倉市のこ
 とを考えていることに思
 いを向けている。

<歴史的分野の実践について>

○貿易ゲーム指導案

過程	時数	学習活動と内容・生徒の考え (◇)	教師の支援 (○)・評価 (※)	資料など
つかむ	5	1. 用具の準備・説明 - 各グループごとのセットを配布。 <基本ルール> - 袋の中にある資源(紙)と技術(道具)を使い工業製品(図形)を作成し、「市場」で取引をし、お金をかせぐ。 「大統領(1人)」が国策を最終決定し、「商社マン(1人)」が市場で取引を行う。また、「外交官(1人)」は国を離れることができる。 貿易ゲームを体験しよう。	○使ってよいものは「配布された道具」と「アイデア」のみと助言。	各グループごとのセット <セット内容> 紙(資源) ハサミ 三角定規 定規 コンパス 鉛筆 情報シール
調べる	15 5	2. ゲーム開始 <世界情勢は刻一刻と変化する> - 製品の値段が上下する。 (市場の製品流通量による) - 新しい資源が発掘される。 (資源を市場で購入できる) - 新しい資源が環境に悪いということがわかる。 (新しい資源による製品は取引無効に) - 技術が古くなる。 (特定の道具が使用不可に) etc...	○質問があっても、大まかなルール以外は、「考えて」と答え自分たちで判断させる。 ○「貿易」を意識させる声かけにより、他国の情報に目を向けさせる。 ○「市場」の生徒に、粗悪品(雑につくられた品)は安く買いたたいてかまわないことをアドバイス。 ○数分ごとに世界情勢をアナウンスする。	様々な世界情勢のカード
まとめあ	10	3. ゲーム終了。各国(グループ)ごと経済状況の計算 4. ゲームの振り返ってみて感想を交流する。 ◇A国は、コンパスがあつてすい。C国にはなかった。A国はず	○自分たちがやってきたのは、世界貿易のシミュレーションで	

げ る		るい。 ◇A国は人が少なくて大変だった。 C国は人がたくさんいた。 ◇D国もコンパスはなかった。それ どころか、鉛筆も少なかった。紙 はたくさんあったけど。 ◇もしかして、実際の世の中もそう (不平等)なのかも。 etc...	あり、世界の国々も条件が同じ ではなく、その中で様々な課題 を抱えながら貿易をしている と気付かせる。
	1 0	5. 世界では日本に何が求められて いるのか考えさせる。 国際社会では、日本には何が求められているのだろうか。 ◇技術がある日本は、技術を他国に 提供し、そのかわり資源をもら う。 ◇貧しい国にお金をあげる。 ◇協力してお互いにもうかる貿易 をする。 etc...	○勝ち負けだけを争っていて良 いのかと問いかける。 ○歴史の学習を振り返り、経済的 に苦しい国が戦争に向かって いったことを確認する。 ※国際社会で日本に求められて いることを考えられたか。
深 め る	5	6. 感想を交流する。 ◇他の国から見たら不平等だとし ても、自分の国では気づかなか った。 ◇実際の世の中も、不平等な中で行 われているなら、それを解決する 必要がある。 ◇世界情勢はすぐに変わってしま うから、よく情勢を知ることが大 切だ。 etc...	○工夫して製品を作成した班は 「技術革新(イノベーション)」 を行ったことや、労働力の移動 もある等、他の視点での学びが あれば伝える。

○貿易ゲーム資料

	A	B	C	D	E	F
	先進国	先進国	途上国	アジア	アフリカ	市場
人口	3	5	6	7	7	4
はさみ	4	5	3	2	2	
じゃうぎ	5	7	3	2	2	
三角定規	4	6	2	1	1	
分度器	3	5	1	0	0	
コンパス	2	2	0	0	0	
鉛筆	8	8	5	3	3	
紙(ふつう)	1	3	3	8	8	数枚
紙(上質)	0	0	0	3	3	数枚
その他	シール					
金	10					

各国は、スタートから様々な
条件で差がついている。

取引製品の相場(基本)	
直径13cmの円	5000G
一辺が7cmの正三角形	1500G
縦7cm×横13cmの長方形	2000G
6cm×8cm×10cmの直角三角形	3000G

資源(紙)や技術(道具)を使い
生産し、市場で取引する。

○貿易ゲームの様子



これは作りが雑な、粗悪品ですね。粗悪品は、市場では高く買い取ることはできません。

A国にはコンパスがあったのに、C国にはなかったので、するいと思いました。

もうけるために、まずは長方形を計画的に作ろう。「シールを貼ったら値段が2倍」ってあるけど…シールがどこかにあったのかな？

まずは、たくさん作ってたくさん売ろう！

その紙とコンパス1つ交換しない？

D国は、人がたくさんいたけど、道具がありませんでした。

○生徒の感想の例

どの国にもそれぞれ考えが違って、どのタイミングで動くかが立場を変えてみて、資源が強い国、人が強い国、どちらとも少ない国をどうやってやるか、自分たちのことを考えてはやるほかの国の気持ちも考えて、考えたことが大事だと思いました。

自分の国だけでなく人とお金や資源をもうけている、戦争になるので自分の足りない物、強い物は他の国としっかり取引して平等に行っていく、世界には、負しい国がいっぱいあるのでその国を助けようとして貿易をしていく。

他の国から見ると、私たちのグループは最初からお金もあつたし、道具もたくさんあつて有利だと思われていたと思います。

でも大きな国と比べて、人数が少なかつたので、そこは他の国から見てもらつたと思います。

どの国にも良い点や悪い点があつてそれを克服するためにそれぞれが工夫をしていました。貿易ゲームだけに限らず、それぞれがお互いを補い合つて、高め合つて、工夫をすることが大切だと思います。

私の立場からしたら、中国やアフリカの人教は多すぎて怖い!!と思った。
でも、よくよく聞いたら、最初のお金と資源、材料もなかったといっ
いた。向こうの立場からすると「あ、ち(私たち)は資源も材料もお金も
あって怖い!!」と思うと思った。
「あ、ち(私たち)は資源も材料もお金もあって怖い!!」

や、いや、怖かたと思う。それぞあの国に良いところ悪いところもあるんだか
ら、それを補ってあげれば、いいと思う。

相手の国の立場に立つ。でもこれは、ものすごくおもしろいことなんだと
思う。だからこそ世界中が協力し、平等な世界にな、ていけば、いいと思う。

世界貿易では、各国が協力するところがとても大切だと思ってる。
今の貿易からみると、どこの国はお金も道具もあるけど、材料が
ないから、どこの国は人と材料はあるけど、お金がないから、いこうと
あ、たのび、協力しあ、る、な、り、は、サ、カ、と、る、ろ、う、と、か、太、切、だ、と、思、い、ま、す。

○立場を意識した話し合い その他のとりくみ

歴史分野では、様々な場面で、それぞれの立場を意識した話し合いを行った。例えば、産業革命を通して一つの題材から資本家や労働者という、対立する両者の立場からの話し合いを行った。明治政府の改革の学習では、明治政府の改革を政府の広報官としてアピールしたり、一般国民の立場から改革を批判したりする話し合いを行ったりした。

また、地理分野では、若手南部鉄器職人としての立場から、伝統を残しつつも、売り上げを伸ばすために必要なことを話し合った。

① 「資本家」の立場から「利潤を増やすためには労働者をどう働かせるか」

「労働者」の立場から「資本家に労働者の意見を通すためにはどうすれば良いか」

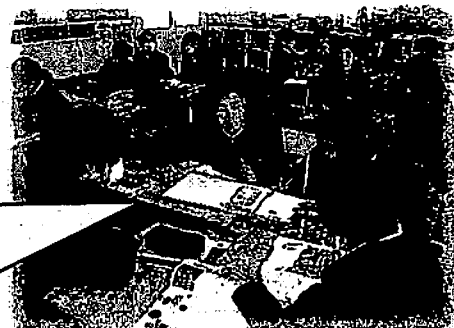
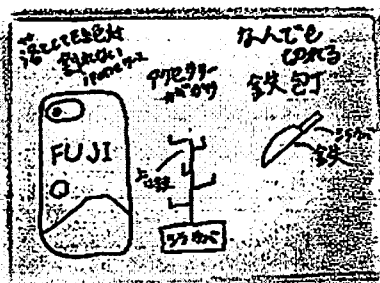
資本家として、最大限の利潤をあげるためには、労働者がギリギリ死なない時間で長時間働かせたり、競争を煽ったりしてどんどん製品をつくらせれば良いと思います。



労働者として、今の苦しさを抜け出すためには、意見を認めてもらうよりも、いっそのこと資本家を倒してみんなで給料を山分けすれば良いと思います。(マルクス誕生!?)

② 「若手南部鉄器職人として」南部鉄器の伝統を残しつつ、どう売り上げを伸ばすか

ターゲットを若者にしぼって、スマホ関係の商品をつくってみたらどうだろう? 落としても割れないケースとかは?



ア 生徒が考えたキャッチコピー例

The image displays three panels of Japanese propaganda posters from 1942, each with a title, a central illustration, and a slogan.

- Panel 1 (Left):**
 - Top Left:** 徴兵令 (Conscription Order)
 - Top Right:** ジョーパン (Jōpan) 横山 (Yokoyama) 人見 (Hitomi) 若井 (Wakai) 長澤 (Nagasaki)
 - Center:** A soldier in a military uniform.
 - Bottom:** キャッチコピー (Catchphrase) あなたは日本の英雄となる! (You will become the hero of Japan!).
- Panel 2 (Middle):**
 - Top Left:** 学制 (Education System)
 - Top Right:** ジョーパン (Jōpan) 東 (Higashi) 金子 (Kaneko) 小塚 (Kosaka)
 - Center:** A child sitting at a desk, writing.
 - Bottom:** キャッチコピー (Catchphrase) 頭脳は武器 (The brain is a weapon).
- Panel 3 (Right):**
 - Top Left:** 地租改正 (Land Tax Revision)
 - Top Right:** ジョーパン (Jōpan) 阿部 (Abe) 村中 (Murakami) 岡田 (Okada) 宮本 (Miyamoto)
 - Center:** A farmer working in a field.
 - Bottom:** キャッチコピー (Catchphrase) お今秋納税「地租改正」! (Pay your land tax this autumn, 'Land Tax Revision'!) 納めて国は進化する!! (Pay it, and the country will evolve!!).

イ 生徒の感想から

同じ生徒の違う「立場」からの考え。上段は、「明治政府の広報官」としての立場を考えた感想。下段は「一般国民」として、政府を批判した川柳です。

他の(主に列強の)国に負けない、強く、豊かに国にしたいと思ってる。
そのために、様々な政策を行なったが、豊かに国、つまり、低利子で資金を貸す。
其の目的、豊かに国、つまり、低利子で資金を貸す、そのためにある政策は、どんな意味があるのか。
その答え、説明が必要では、受け入れてもらえるかなと不安だったろうか。

工業や知識や国は豊かでも
心の方は豊かにならまい

「国のため」という思いをわかりつつも、国民の苦しさも感じている。

[illegible]

政府が国民の苦しさをわかることで、余計に悩むという視点も見える。

外国に負けない日本!! 武力でも工業でも絶対に負けない!!
 をこれを実現させるために前向きに頑張っていると
 思った。

国民の 意見をきかない 政府たち
 つかせ! 政府を われらの一揆で

国民の怒りもわかりつつ、政府の改革を「前向き」ととらえている。

身分制度がなくなって、ほとんどの人が平等になったことによって、みんながやらなければいけないことや、みんなの力や気持ちが必要なことがとても多いと感じました。また、目標とする日本の姿に将来なるために、始めてからしばらくは効果が出てにくい政策が多かったのかと思いました。

国民の苦しさもわかりつつ、政府の長期的な視点も考えている。

<公民的分野の実践について>

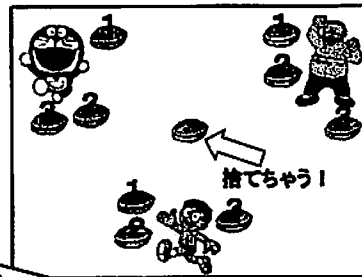
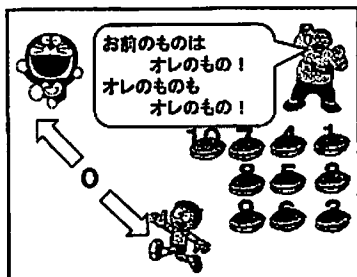
○指導計画（4時間計画）

過程	時数	内容									
見いだす	1	・仮想マンションにおいて、立場や考え方の違いによって起きる「対立」を解決する方法について話し合う。 資料① マンション図 ※ このマンションに入居する場合は、全員自治会に加入し、自治会の決定に従うとの規約に同意している。 <table border="1"> <tr> <td> 301<自治会役> 夫婦、子ども3人、会社を定年退職している。夫は、この団地の自治会役員。ゴミ置き場の利用状況が良く、自治会役員としての役割を果たしている。203号室の住人であり、足が不自由な日本人Bのゴミ出しを手伝っている。  </td><td> 302<外国人家族A> 外国人夫婦、子ども2人、外国人家族Bと仲が良い。日本語の読み書きができていない。外国が大好きで、食生活で驚いていることが多い（その国の文化である）。ゴミ出しルールを知らない。  </td><td> 303<日本人家族A> 夫婦、夫婦、中3の娘、小学5年の息子の5人家族。祖父母の介護が原因で、家族の生活が乱れてしまった。息子の遊び道具が壊れてしまった。息子は外国人家族Bの祖父母と仲が良い。  </td></tr> <tr> <td> 201<日本人C> 家族からいじめられ、専業主婦の男性。仕事で忙しく、出社も遅い。近所とのコミュニケーションがうまくいっていない。自治会の活動には参加していない。  </td><td> 202<外国人家族B> 外国人夫婦、小学5年の息子の3人家族。夫婦は、日本語の読み書きができていない。夫は、日本語を話すことができない。日本人家族Aの男の子と仲が良い。ゴミ出しルールを知らない。  </td><td> 203<日本人B> 元教師の夫婦、夫婦、小学5年の息子の3人家族。夫婦は、日本語の読み書きができていない。夫は、日本語を話すことができない。日本人家族Aの男の子と仲が良い。ゴミ出しルールを知らない。  </td></tr> <tr> <td> 101<空き部屋> 空き部屋。  </td><td> 102<集会所> 利用は、8時から19時まで。飲食は禁止。  </td><td> 103<日本人家族D> 母子家庭。母親と小学5年の息子の2人家族。母親はフルタイムで働き、その息子は保育園に通っている。子どもが、病気になると仕事を休まなくてはならない。  </td></tr> </table> 新しく引っ越してきました。 このマンションで起こる「対立」について、それぞれの立場から話し合い、何から解決するか話し合いを行った。 資料② ゴミ置き場(ゴミ袋の上からネットをかける方式) ・夜中にゴミ出しをする住民がいるため、朝カラスがつつき、ゴミが散乱してしまう。 ・ゴミが分別されずにおかれ、それが収集されずに放置されてしまい、よその住民によるゴミ捨てを悪発している。 資料③ 自治会の主な活動 ・図録版(日本語のみ)を利用し、活動を知らせる。 ・マンション周辺のクリーン活動、地域のパトロール活動(登下校児童見守り、夜の防犯パトロール)、お祭りの企画運営、その他会員の要請に積極的に対応。 ・必要経費は、自治会費(1世帯、月々300、1年間で3600)より支出される。 このマンションについての基本情報。 首からかけているのは、それぞれの「立場」のカード。まずは、同じ「立場」の人で課題を共有し合った。 それぞれの「立場」になりきって話し合いを行った。	301<自治会役> 夫婦、子ども3人、会社を定年退職している。夫は、この団地の自治会役員。ゴミ置き場の利用状況が良く、自治会役員としての役割を果たしている。203号室の住人であり、足が不自由な日本人Bのゴミ出しを手伝っている。 	302<外国人家族A> 外国人夫婦、子ども2人、外国人家族Bと仲が良い。日本語の読み書きができていない。外国が大好きで、食生活で驚いていることが多い（その国の文化である）。ゴミ出しルールを知らない。 	303<日本人家族A> 夫婦、夫婦、中3の娘、小学5年の息子の5人家族。祖父母の介護が原因で、家族の生活が乱れてしまった。息子の遊び道具が壊れてしまった。息子は外国人家族Bの祖父母と仲が良い。 	201<日本人C> 家族からいじめられ、専業主婦の男性。仕事で忙しく、出社も遅い。近所とのコミュニケーションがうまくいっていない。自治会の活動には参加していない。 	202<外国人家族B> 外国人夫婦、小学5年の息子の3人家族。夫婦は、日本語の読み書きができていない。夫は、日本語を話すことができない。日本人家族Aの男の子と仲が良い。ゴミ出しルールを知らない。 	203<日本人B> 元教師の夫婦、夫婦、小学5年の息子の3人家族。夫婦は、日本語の読み書きができていない。夫は、日本語を話すことができない。日本人家族Aの男の子と仲が良い。ゴミ出しルールを知らない。 	101<空き部屋> 空き部屋。 	102<集会所> 利用は、8時から19時まで。飲食は禁止。 	103<日本人家族D> 母子家庭。母親と小学5年の息子の2人家族。母親はフルタイムで働き、その息子は保育園に通っている。子どもが、病気になると仕事を休まなくてはならない。 
301<自治会役> 夫婦、子ども3人、会社を定年退職している。夫は、この団地の自治会役員。ゴミ置き場の利用状況が良く、自治会役員としての役割を果たしている。203号室の住人であり、足が不自由な日本人Bのゴミ出しを手伝っている。 	302<外国人家族A> 外国人夫婦、子ども2人、外国人家族Bと仲が良い。日本語の読み書きができていない。外国が大好きで、食生活で驚いていることが多い（その国の文化である）。ゴミ出しルールを知らない。 	303<日本人家族A> 夫婦、夫婦、中3の娘、小学5年の息子の5人家族。祖父母の介護が原因で、家族の生活が乱れてしまった。息子の遊び道具が壊れてしまった。息子は外国人家族Bの祖父母と仲が良い。 									
201<日本人C> 家族からいじめられ、専業主婦の男性。仕事で忙しく、出社も遅い。近所とのコミュニケーションがうまくいっていない。自治会の活動には参加していない。 	202<外国人家族B> 外国人夫婦、小学5年の息子の3人家族。夫婦は、日本語の読み書きができていない。夫は、日本語を話すことができない。日本人家族Aの男の子と仲が良い。ゴミ出しルールを知らない。 	203<日本人B> 元教師の夫婦、夫婦、小学5年の息子の3人家族。夫婦は、日本語の読み書きができていない。夫は、日本語を話すことができない。日本人家族Aの男の子と仲が良い。ゴミ出しルールを知らない。 									
101<空き部屋> 空き部屋。 	102<集会所> 利用は、8時から19時まで。飲食は禁止。 	103<日本人家族D> 母子家庭。母親と小学5年の息子の2人家族。母親はフルタイムで働き、その息子は保育園に通っている。子どもが、病気になると仕事を休まなくてはならない。 									

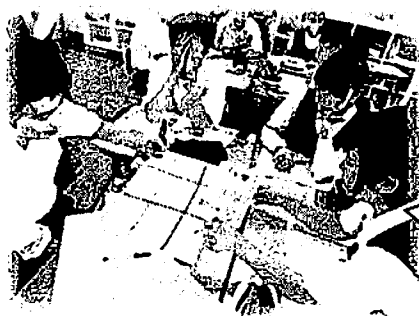
調べる
まとめる

1

・「騒音問題」を取り上げ、対立を合意に導く話し合いで、大切な「効率と公正」について学び、その視点を使って話し合いを行う。



パワーポイントのスライドを使って、「効率と公正」の説明を行った。



部屋の移動や、ルールの変更、部屋と部屋をつなげる、注意をしていく等、様々な意見が出てきています。

決まりの評価表

		第1案	第2案
		第1案の採用時 点と理由	第2案の採用時 点と理由
項目	評価の項目	評価結果	評価結果
効率	① 目的を実現するための適切な手段となっているか。	5・4・③・2・1	5・4・3・2・1
	② みんなの時間やお金、労力などが無駄なく使われているか。	5・4・3・2・1	5・4・③・2・1
公正	③ 誰にとっても同じ内容を意味するものになっているか。	5・4・3・②・1	⑤・4・3・2・1
	④ きまりをつくる過程にみんなが参加しているか。	5・4・③・2・1	5・4・3・2・1
	⑤ 立場をかえても受け入れられるものになっているか。	5・4・3・②・1	5・4・③・2・
計		案1 14	案2 19

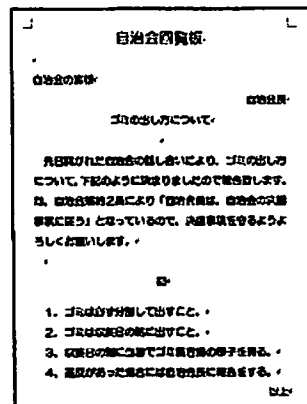
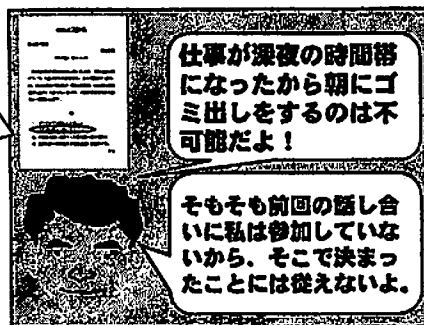
それぞれのグループで出したアイデア2つを、「効率と公正」の観点から数値化して比べた。

調べる
まとめる

1

・「ゴミ出し問題」を取り上げ、解決の方法を話し合い、「きまり」の意義について話し合う。

みんなで決めた「きまり」によりゴミ問題が解決しましたが、きまりを破った日本人Cのせいでゴミ問題が再発した。



	3 1B 決まりの評価表 グループごとの意見 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 目的を達成するための適切な手段となっているか。</td> <td>5・4・3・2・1</td> <td>5・4・3・2・1</td> </tr> <tr> <td>② みんなの時間やお金、労力などが無駄なく使われているか。</td> <td>5・4・3・2・1</td> <td>5・4・3・2・1</td> </tr> <tr> <td>③ 誰にとっても同じ内容を意味するものになっているか。</td> <td>5・4・3・2・1</td> <td>5・4・3・2・1</td> </tr> <tr> <td>④ 書き手をつくる過程にみんなが参加しているか。</td> <td>5・4・3・2・1</td> <td>5・4・3・2・1</td> </tr> <tr> <td>⑤ 立場をかえても受け入れられるものになっているか。</td> <td>5・4・3・2・1</td> <td>5・4・3・2・1</td> </tr> </tbody> </table> 計 表1 / 8 表2 今回は、グループで一つの意見について「効率と公正」の視点で数値化を行った。 深夜から朝にかけて仕事をしている都合があるから、ゴミ置き場を交代で見回るなんて、とてもじゃないけどできないね！	項目	評価	理由	① 目的を達成するための適切な手段となっているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	② みんなの時間やお金、労力などが無駄なく使われているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	③ 誰にとっても同じ内容を意味するものになっているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	④ 書き手をつくる過程にみんなが参加しているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1	⑤ 立場をかえても受け入れられるものになっているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
項目	評価	理由																	
① 目的を達成するための適切な手段となっているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1																	
② みんなの時間やお金、労力などが無駄なく使われているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1																	
③ 誰にとっても同じ内容を意味するものになっているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1																	
④ 書き手をつくる過程にみんなが参加しているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1																	
⑤ 立場をかえても受け入れられるものになっているか。	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1																	
調べる まとめる	1 ・「家庭内での対立」を取り上げ、解決の方法を話し合い、個人の尊厳と両性の本質的平等について考える。 101<空き部屋> もう一度私も、働きたいと思っているんだけど... 空き部屋に引っ越してきました。子どもが大きくなったので、もう一度働きたいと思っています。 101号室に新しく入居した家族 - 父(会社員)、母(専業主婦)、子(中学3年生)の3人家族です。 - 母は専業主婦ですが、子どもが中学生になり手がわからなくなったので、もう一度働きたいと考えています。 - 母は、子どもが中学3年生になったのを機に、以前と同じように働くことを決意しました。しかし、その希望を実現するためには、家族で家事を新たに分担しなければなりません。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>父(会社員)</th> <th>母(専業主婦)</th> <th>子(中学3年生)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>状況</td> <td> - 今のマンションに引っ越したため、会社まで車で10分と近くなった。 - 朝は8時頃に家を出て、18時頃帰宅することが多い。 - 週に2〜3回、残業のために帰宅が21時頃になる。 - 日曜日はゴルフに出かけることが多い。 </td> <td> - 子どもが生まれる前は、正社員として働いていた。 - これから就職しようとしている会社は、自給車で15分ほどの場所です。8時から17時までの勤務を予定。 - 週に1〜2回、残業もあり、18時頃の帰宅になりそう。 </td> <td> - 朝は7時45分頃起きて、朝ごはんは10時頃まである。 - 通勤バスに入っていて、土日のどちらかは一日中居る。 - 週に2日、空いている。 </td> </tr> <tr> <td>家事分担</td> <td> - ゴミのまわりとゴミ出し。 </td> <td> - 夫と子ども(土日祝日)の弁当づくり。 - 朝ごはんの準備と片付け。 - 洗濯(干す、たたむ、しまう)。 - 部屋の掃除。 - トイレの掃除。 - 庭の手入れ。 - 食器の洗い物。 - ふとん干し。 - アイロンがけ。 - 夕食の準備と片付け。 - 子どもの服と父のゴルフの洗濯。 </td> <td> - 風呂の掃除。 </td> </tr> </tbody> </table> 新しく引っ越してきた家族の家事役割分担。母親の家事分担が大きくなっている。		父(会社員)	母(専業主婦)	子(中学3年生)	状況	- 今のマンションに引っ越したため、会社まで車で10分と近くなった。 - 朝は8時頃に家を出て、18時頃帰宅することが多い。 - 週に2〜3回、残業のために帰宅が21時頃になる。 - 日曜日はゴルフに出かけることが多い。	- 子どもが生まれる前は、正社員として働いていた。 - これから就職しようとしている会社は、自給車で15分ほどの場所です。8時から17時までの勤務を予定。 - 週に1〜2回、残業もあり、18時頃の帰宅になりそう。	- 朝は7時45分頃起きて、朝ごはんは10時頃まである。 - 通勤バスに入っていて、土日のどちらかは一日中居る。 - 週に2日、空いている。	家事分担	ゴミのまわりとゴミ出し。	- 夫と子ども(土日祝日)の弁当づくり。 - 朝ごはんの準備と片付け。 - 洗濯(干す、たたむ、しまう)。 - 部屋の掃除。 - トイレの掃除。 - 庭の手入れ。 - 食器の洗い物。 - ふとん干し。 - アイロンがけ。 - 夕食の準備と片付け。 - 子どもの服と父のゴルフの洗濯。	風呂の掃除。						
	父(会社員)	母(専業主婦)	子(中学3年生)																
状況	- 今のマンションに引っ越したため、会社まで車で10分と近くなった。 - 朝は8時頃に家を出て、18時頃帰宅することが多い。 - 週に2〜3回、残業のために帰宅が21時頃になる。 - 日曜日はゴルフに出かけることが多い。	- 子どもが生まれる前は、正社員として働いていた。 - これから就職しようとしている会社は、自給車で15分ほどの場所です。8時から17時までの勤務を予定。 - 週に1〜2回、残業もあり、18時頃の帰宅になりそう。	- 朝は7時45分頃起きて、朝ごはんは10時頃まである。 - 通勤バスに入っていて、土日のどちらかは一日中居る。 - 週に2日、空いている。																
家事分担	ゴミのまわりとゴミ出し。	- 夫と子ども(土日祝日)の弁当づくり。 - 朝ごはんの準備と片付け。 - 洗濯(干す、たたむ、しまう)。 - 部屋の掃除。 - トイレの掃除。 - 庭の手入れ。 - 食器の洗い物。 - ふとん干し。 - アイロンがけ。 - 夕食の準備と片付け。 - 子どもの服と父のゴルフの洗濯。	風呂の掃除。																

○生徒の感想の例 (H27入学生徒)

前回の授業で、グループで話し合っている中、多岐決をとるという話もあったけど、全員が賛成することなんて少ないから、多岐決をとるという話も大切にしていくかなって思った。多岐決の意見だけじゃなく、多数決の意見の尊重も大切にしていくかなって思った。多岐決の意見だけじゃなく、多数決の意見の尊重も大切にしていくかなって思った。

今回の授業は、あるマンションについての話し合いをグループで行った。グループでの話し合いは、自分も思いつかない案、どうや考え方がたくさんあり、楽しく色んな意見の意見がある人達と気が付いた。授業でいい。

何かを良くするには、人々との関わり、相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることが大切だ。今回の授業で、人々との関わり、相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることが大切だ。今回の授業で、人々との関わり、相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることが大切だ。

今回の授業は、あるマンションの件だけでも、たくさんさんの意見があり、それを合意に導くために、たくさんさんの意見が出ていた。だから、私達の身の回りにも、たくさんさんの課題があると思う。それを見つけて、自分自身の解決方法を考え、できることがあれば、少しずつでも、やっていきたい。

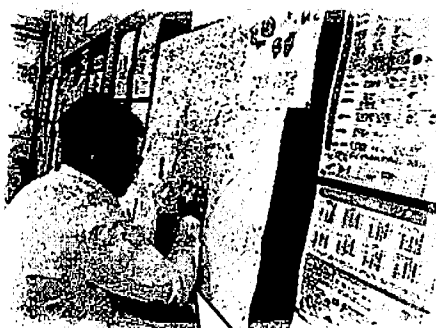
今回の授業は、あるマンションの件だけでも、たくさんさんの意見があり、それを合意に導くために、たくさんさんの意見が出ていた。だから、私達の身の回りにも、たくさんさんの課題があると思う。それを見つけて、自分自身の解決方法を考え、できることがあれば、少しずつでも、やっていきたい。

公民で習った効率や公正というところは自分になんか身近だったのでもよく考えました。効率を良くすると公正があまりとられなく公正を良くすると効率があまり良くならなかったりと難しい部分もありました。だからこそみんなの意見きいて話し合うことが大切だと思いました。

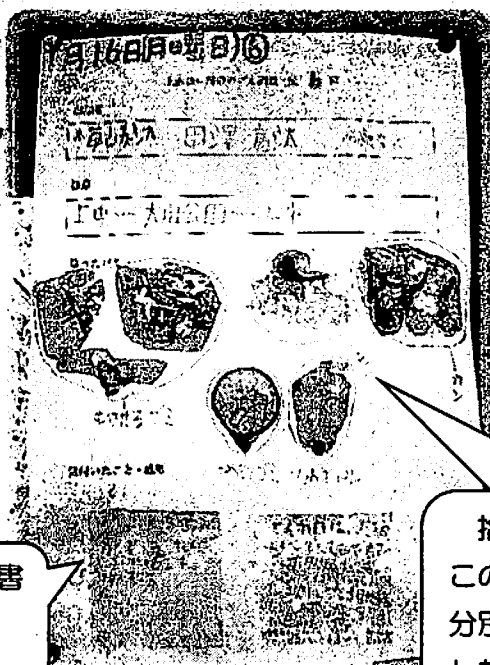
今回の授業は、あるマンションの件だけでも、たくさんさんの意見があり、それを合意に導くために、たくさんさんの意見が出ていた。だから、私達の身の回りにも、たくさんさんの課題があると思う。それを見つけて、自分自身の解決方法を考え、できることがあれば、少しずつでも、やっていきたい。

○その他 特別支援学級の学習

特別支援学級の学習 上志津中周辺のゴミ拾い調査を行い、ゴミマップにまとめる学習



マップに今回の調査のルートを書き込んでいます。



完成したマップです。1ヶ月に1回くらい調査に行きました。

気付いたこと、感想等を書くようにしました。

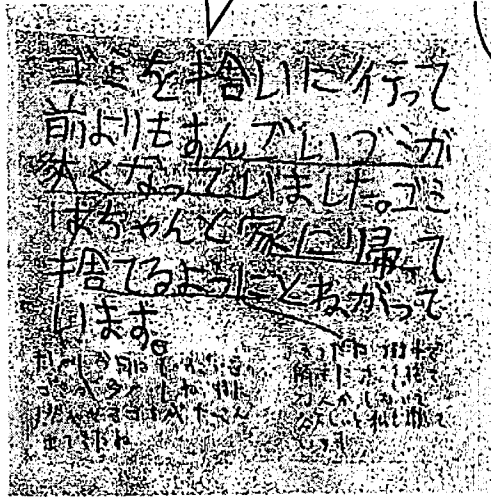
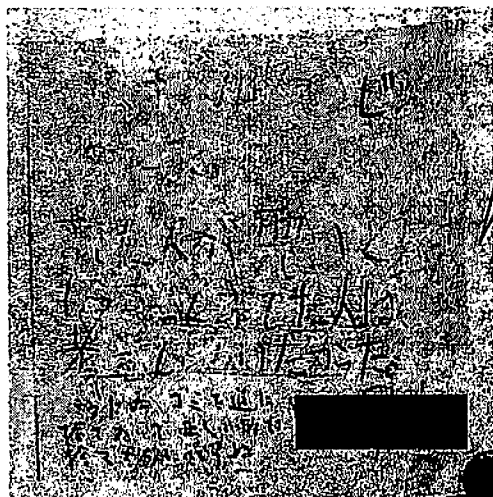
拾ったゴミを分別するとこのようになります。ゴミの分別について、詳しくなりました。



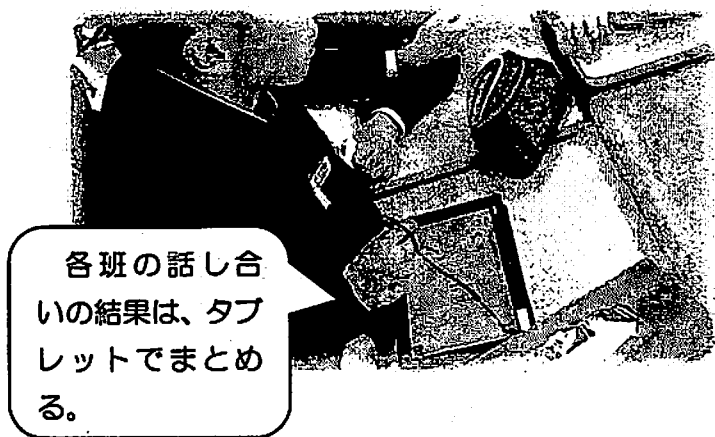
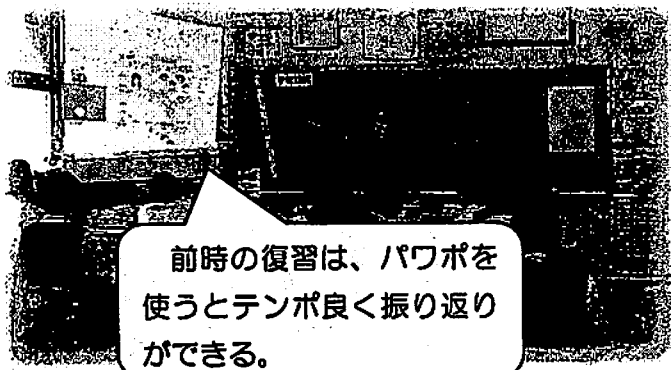
第1回の感想。ゴミが多いことを理解し、「ダメだ」との認識。

第3回の感想。捨てた人に対して「考えてもらいたい」と抽象的な意見。

第6回の感想。捨てた人に対して「ちゃんと家に帰って捨てるように」と具体的な意見。



OICT活用の例



○参考文献

『中学校学習指導要領解説社会編』文部科学省

『社会参画と社会科教育の創造』唐木清志・西村公孝・藤原孝章 著

『討論する歴史の授業』田中龍彦

『考える歴史 思考と表現をつなぐイラストシート』安野功

『ワークショップ型授業で社会科が変わる 中学校』上條晴夫・江間史明

○参考ウェブサイト

「佐倉市人口推計（平成26年11月）」 佐倉市公式ウェブサイト

<http://www.city.sakura.lg.jp/cmsfiles/contents/>

0000012/12238/jinkousuikei.pdf

「『現代社会をとらえる見方や考え方ときまり・契約』に関する教材」

www.moj.go.jp/content/000004341.pdf